



月水金発行  
**薬事日報社**  
東京本社 〒101-8648  
東京都千代田区神田和泉町1  
☎(03) 3862-2141  
FAX(03) 5821-8757  
大阪支社 〒541-0045  
大阪市中央区道修町2-1-10  
☎(06) 6203-4191  
FAX(06) 6233-3681  
購読料 半年19,764円  
(税込) 1年36,234円

日薬学術大会

### 薬局向け業務支援システム

# MAPS for PHARMACY DX

薬局DXを実現することで時代の変化とニーズの多様性へ対応し、患者の健康をサポートします。



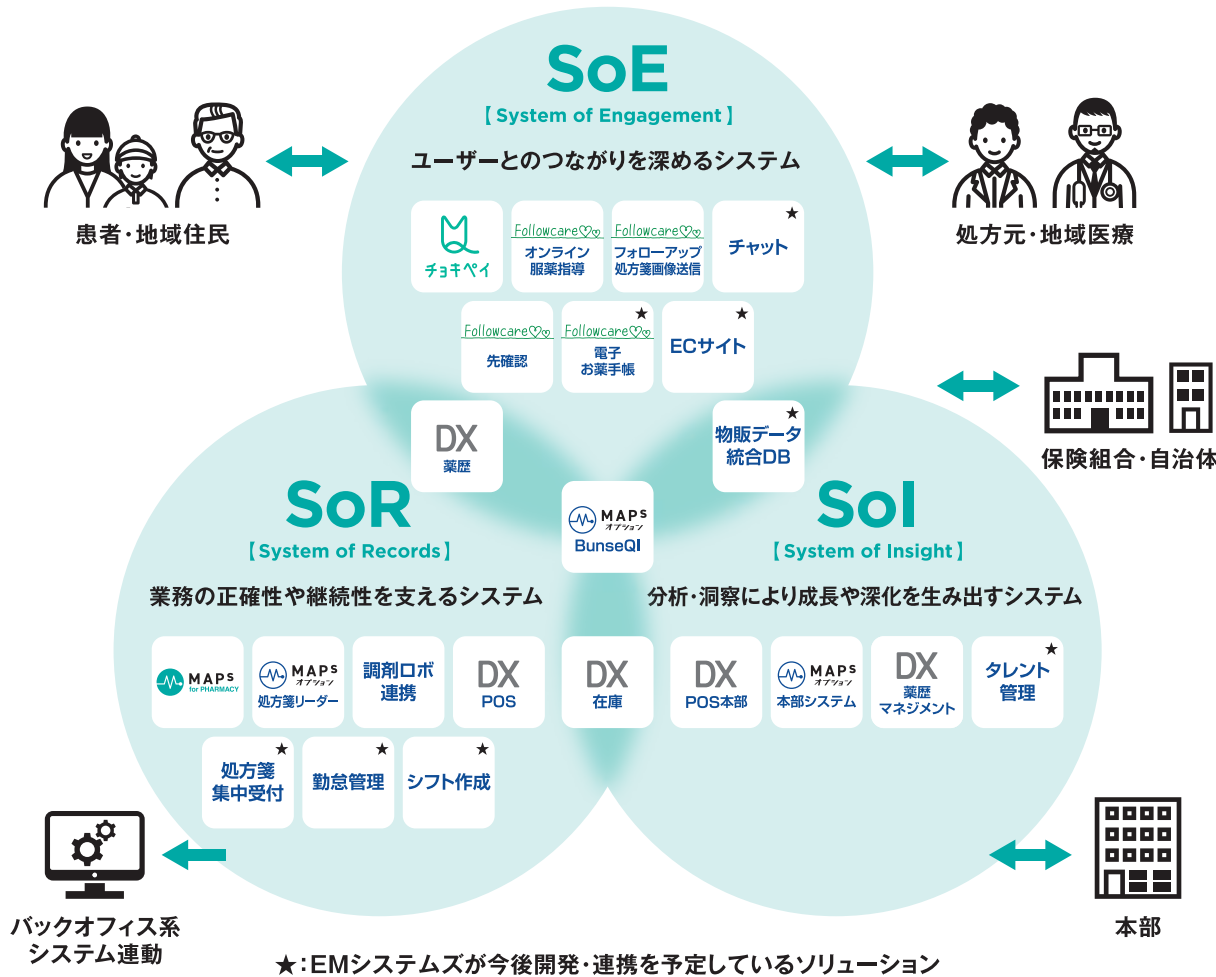
薬局DXを表現するオールクラウド・オールイワンコントロール。



薬局・薬剤師の「対人中心への転換」に対応したインテリジェンスサポート。



データドリブな経営サポートとローコストオペレーションの支援。



## 第56回 日本薬剤師会学術大会 和歌山

グッドサイクルシステム 共同出展

ブースにお越しいただいたお客様には、抽選で素敵な景品をプレゼント!



さらに! 弊社が運営する総合ポータルサイト「EM-AVALON」へ  
その場で登録いただくともう1回抽選のチャンスをゲット!

会員登録はこちら!

<https://em-avalon.jp/myavalon>



株式会社 EMシステムズ

WEBはこちら

EMシステムズ

検索

東京本社

〒105-0012 東京都港区芝大門2-10-12 KDX芝大門ビル  
TEL:03-3432-5144(代表)

大阪本社

〒101-0054 大阪府大阪市淀川区宮原1-6-1 新大阪ブリックビル  
TEL:06-6397-1888(代表)



第56回日本薬剤師会学術大会 ランチョンセミナー2

在宅医療での、これからの

# 電子版お薬手帳への期待

9/17 sun 12:30-13:30

第2会場 和歌山県民文化会館  
小ホール皆様のご参加を  
お待ちしております!!

座長

奈良県立医科大学附属病院  
薬剤部長

池田 和之 様

演者

HYUGA PRIMARY CARE株式会社  
代表取締役社長

黒木 哲史 様

演題名

在宅医療での、これからの  
電子版お薬手帳への期待現在の在宅医療現場の課題  
と、今後電子版お薬手帳をはじ  
めとする、各システム連携によ  
る在宅医療の未来像について

演者

ウィーメックス株式会社ヘルスケアIT事業部  
プロダクトマネジメント部調剤プロダクト課課長

松田 武継 氏

薬局業務の効率化と患者さんの満足度向上に貢献。メディコムは最新の  
ICTのチカラで保険薬局をサポートする様々なシステムを出展します

電子処方箋&amp;オンライン資格確認

電子版お薬手帳 ヘルスケア手帳サービス

保険薬局用電子薬歴システム ※仮称 PharnesX

対面型薬剤情報システム DrugstarLead

ぜひ、お立ち寄りいただきメディコムのサービス・ソリューションをお確かめください!!

第56回日本薬剤師会学術大会  
共催:ウィーメックス株式会社

Medicom

ウィーメックス株式会社  
コーポレートサイト  
<https://www.wemex.com>

商品サービス情報

<https://www.phchd.com/jp/medicom>

D3077



## NeoX株式会社は「AIで、薬局のDX化への想いをカタチにする会社」

処方箋入力業務を変えていくAI企業が本気で作った学習し続ける処方箋AI-OCR薬師丸賢太

枚数ベース正解率**99.6%!**事前のフォーマット登録**不要!**サービス提供開始後、  
約1年半利用薬局数**1,900店舗突破!!**月間処方箋読み取り枚数**100万枚突破!!**

※掲載された数字は令和5年8月31日現在のものです

### 出展情報

日程 9/17(日)～9/18(月・祝)

会場 和歌山城ホール1F展示室 ブースNo.13

ぜひブースにお立ち寄りいただき、薬師丸賢太の性能をご覧ください!!



電話番号:

03-6869-8327

メールアドレス:

support@yakumaru.ai

ホームページ



当ファイルの著作権は(株)薬事日報社またはコンテンツ提供者に帰属します。当ファイル(印刷物含む)の利用は私的利用の範囲内に限られ、それ以外の無断複製・無断転載・無断引用はご遠慮ください。当ファイル(印刷物含む)を社内資料、営業資料などでご利用される場合はご相談ください。

株式会社薬事日報社 TEL:03-3862-2141 shinbun@yakuji.co.jp <http://www.yakuji.co.jp/>



# 和の心——未来へ

## 17、18日 和歌山市内5会場で開催

第56回日本薬剤師会学術大会(大会運営委員長・稲葉真也 和歌山県薬剤師会会長)が17、18の両日、和歌山市の和歌山県民文化会館、和歌山城ホール、和歌山県立医科大学薬学部キャンパスなど5会場で開催される。昨年の大会に続き、今年も現地開催だけでなく、ウェブ開催を併用したハイブリッド形式で実施。関西では2013年の大阪以来10年ぶりの開催で、和歌山県で開くのは初めて。薬剤師の今後の職能のあり方などを考える意義深い大会となりそうだ。



会場の和歌山県民文化会館

今大会のテーマは「和の心——未来へ」に設定した。地域の医療や介護提供体制をより良いものにするために、薬剤師は地域の各職種としっかり連携して取り組む必要があるという思いを込めたほか、和歌山の和もかけた。稲葉氏は「薬剤師は今後、地域の医師や看護師など医療従事者との連携や、ケアマネージャーやヘルパーなど介護従事者との連携、行政担当者との連携を深めることが重要になる。地域の様々な関係者の信頼を得て、皆で仲良く医療や介護の提供に取り組むことが求められている」と語る。

特別記念講演は太田茂氏(和歌山県立医科大学薬学部長・教授)が「薬学部におけるこれからの人材養成」をテーマとして話。日本薬学会の会頭を務めた経験のある太田氏は、薬剤師の将来展望について深い見識を持つほか、和歌山県立医科大学の薬学部新設計画に構想段階から関わった。これらの経験を踏まえて、同薬学部で行う新たな薬学教育の取り組みなどが示される予定だ。

4題の特別講演は、「薬剤師って必要なの?—今後、薬剤師に求められる役割とは」富野浩充氏(徳津市立総合病院薬剤部主査)、「新型コロナウイルス感染症パンデミック3年半の振り返りと今後への備え」二木芳人氏(昭

和歌山県立医科大学薬学部キャンパス

和歌山県立医科大学薬学部内科学講座 臨床感染症学部門客員教授、「進行肺がんに対する薬物療法およびがんゲノム医療について」山本信之氏(和歌山県立医科大学医学部内科学第三講座 教授)、「ミトコンドリアを主題とした最新の薬理学研究」新谷紀人氏(和歌山県立医科大学薬学部薬学科教授)が予定されている。

分科会では、未来を見据えた薬剤師の姿や、海外の薬剤師業務との比較、へき地・過疎地での薬剤師の役割、災害発生時の対応など、盛り沢山なテーマが設定されている。

県民公開講座は18日の午後2時から和歌山城ホールで開催。中井宏次氏(NPO法人健康笑い塾主宰)が「健康と笑い—人生100年時代楽しく・おもしろく」と題して講演する。

目標参加者数は、現地



和歌山県立医科大学薬学部キャンパス

5000人、オンライン2000人の計7000人。小規模な都市である和歌山市内には宿泊できるホテルが少ない。大阪府内のホテルから来場する参加者も多いと想定して、朝の開始時間を遅めに、夕方は早めに終わるようにした。5カ所に分散する会場や電車の駅、主要ホテルを結ぶシャトルバスも運行する。今後、他の小規模な都市でも開催として立候補しやすいように、和歌山市での大会開催を参考にしたいと考えた。

【主催】日本薬剤師会、和歌山県薬剤師会  
 【会期】17日(日)、18日(月・祝)  
 【大会ホームページ】<https://www.c-linkage.co.jp/jpa56/>

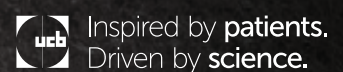
### 第56回 日本薬剤師会 学術大会

#### 主な内容

山本日薬会長に聞く	4
稲葉大会運営委員長に聞く	5
日薬賞受賞者の横顔	6~7
分科会の見どころ・聞きどころ	9~10、15~18
〈グラビア〉	
災害薬事リーダーを育成 和歌山県薬の取り組み	11~14
話題の調剤支援システム	19~22

### 一人ひとりと、 笑顔の明日へ。

だれもがかけがえのない人生をその人らしく生きるために。私たちは病気を抱えて生きる患者さん一人ひとりに寄り添い、その生活をよりよくする革新的な治療薬の提供に取り組んでいます。



ユーシービー・ジャパン株式会社



# 日本薬剤師会 山本 信夫会長に聞く

## 薬剤師取り巻く環境変化に対応

### 医薬品供給など課題山積

2025年の地域包括ケアシステム構築に向け、薬剤師を取り巻く環境は大きく変化している。後発品をはじめとする医薬品供給問題、来年4月に控えるトリプル改定への対応など足下で「ヒト・モノ・カネ」をめぐる問題が山積している。日本薬剤師会の山本信夫会長に、これらの問題認識と今後の対応などを聞いた。

——後発品の供給問題について。

2019年の小林化工の不祥事を発端に、連鎖反応で医薬品不足に陥った。既に3年半が経過したが、未だその改善が図られていない点は、私の理解の限界を超えている。

現在起きている医薬品の供給不足の主たる要因は製造時のルール違反だが、その後の医薬品の供給不安は、一部の後発品メーカーによる製造不正にとどまらず、それを契機に様々な問題が絡み合っており、これを認識している。

国の後発品使用推進政策は、グローバルな視点からも間違っていない。しかし、それを短兵急に進めるあまり、短期間で

後発品の数量シェアが急拡大し、後発品の製造能力が市場の需要に対応できず、キャパシティを超えてしまった。承認書に記載されている製造工程から逸脱した医薬品製造が行われたことは論外として、頻回に行われている。

また、医療機関や薬局が市場で購入している実勢価格と公定価格の間に大きな乖離が生じていることにより、その結果薬価が引き下げられ、安定供給にも影響が出ているように思われる。

また、医療機関や薬局が市場で購入している実勢価格と公定価格の間に大きな乖離が生じていることにより、その結果薬価が引き下げられ、安定供給にも影響が出ているように思われる。

また、医療機関や薬局が市場で購入している実勢価格と公定価格の間に大きな乖離が生じていることにより、その結果薬価が引き下げられ、安定供給にも影響が出ているように思われる。

また、医療機関や薬局が市場で購入している実勢価格と公定価格の間に大きな乖離が生じていることにより、その結果薬価が引き下げられ、安定供給にも影響が出ているように思われる。

また、医療機関や薬局が市場で購入している実勢価格と公定価格の間に大きな乖離が生じていることにより、その結果薬価が引き下げられ、安定供給にも影響が出ているように思われる。

### 零売は薬剤師の判断重要

——医薬品の販売制度に関する検討会での議論について。

いわゆる「零売」(分割販売)行為も含めて検討会の議論を聞いています。例えば、零売にかかわらず、現行ルールを守らずに、その制度があたかも過剰規制であるかのよう

に「規制が悪い」から「緩和せよ」とか「改正せよ」とする主張には違和感を超えて、不快感さえ覚える。

「診療報酬・薬価」に「介護報酬」を加えて「子供・子育て」にかかると、費用も一部社会保障費から捻出するとなると、社会保障財源をめぐって四つが重なるのは初めての経験だ。少子化対策に社会保障財源が使われる可能性も考えると、日薬

「診療報酬・薬価」に「介護報酬」を加えて「子供・子育て」にかかると、費用も一部社会保障費から捻出するとなると、社会保障財源をめぐって四つが重なるのは初めての経験だ。少子化対策に社会保障財源が使われる可能性も考えると、日薬

「診療報酬・薬価」に「介護報酬」を加えて「子供・子育て」にかかると、費用も一部社会保障費から捻出するとなると、社会保障財源をめぐって四つが重なるのは初めての経験だ。少子化対策に社会保障財源が使われる可能性も考えると、日薬

「診療報酬・薬価」に「介護報酬」を加えて「子供・子育て」にかかると、費用も一部社会保障費から捻出するとなると、社会保障財源をめぐって四つが重なるのは初めての経験だ。少子化対策に社会保障財源が使われる可能性も考えると、日薬

### フォロワーアップ業務評価を

——トリプル改定への対応について。

「診療報酬・薬価」に「介護報酬」を加えて「子供・子育て」にかかると、費用も一部社会保障費から捻出するとなると、社会保障財源をめぐって四つが重なるのは初めての経験だ。少子化対策に社会保障財源が使われる可能性も考えると、日薬

「診療報酬・薬価」に「介護報酬」を加えて「子供・子育て」にかかると、費用も一部社会保障費から捻出するとなると、社会保障財源をめぐって四つが重なるのは初めての経験だ。少子化対策に社会保障財源が使われる可能性も考えると、日薬

「診療報酬・薬価」に「介護報酬」を加えて「子供・子育て」にかかると、費用も一部社会保障費から捻出するとなると、社会保障財源をめぐって四つが重なるのは初めての経験だ。少子化対策に社会保障財源が使われる可能性も考えると、日薬

「診療報酬・薬価」に「介護報酬」を加えて「子供・子育て」にかかると、費用も一部社会保障費から捻出するとなると、社会保障財源をめぐって四つが重なるのは初めての経験だ。少子化対策に社会保障財源が使われる可能性も考えると、日薬

「診療報酬・薬価」に「介護報酬」を加えて「子供・子育て」にかかると、費用も一部社会保障費から捻出するとなると、社会保障財源をめぐって四つが重なるのは初めての経験だ。少子化対策に社会保障財源が使われる可能性も考えると、日薬

「診療報酬・薬価」に「介護報酬」を加えて「子供・子育て」にかかると、費用も一部社会保障費から捻出するとなると、社会保障財源をめぐって四つが重なるのは初めての経験だ。少子化対策に社会保障財源が使われる可能性も考えると、日薬



山本信夫 会長

山本信夫 会長

山本信夫 会長

山本信夫 会長

山本信夫 会長

山本信夫 会長

届けたいのは、  
夢、希望、  
いつもの日々。

もしものときも、  
変わらない日常がつづくように。  
新薬で、すこやかな未来届けたい。

## Only Ono

小野にしかできない挑戦がある。

**ONO 小野薬品工業株式会社**



# 和歌山県で初の大会開催へ

## 大会運営委員長 稲葉 眞也氏 (和歌山県薬剤師会会長) に聞く

第56回日本薬剤師会学術大会が「和の心 未来へ」をテーマに17、18日の2日間、和歌山市の和歌山県民文化会館、和歌山城ホール、和歌山県立医科大学薬学部キャンパスなど3会場で開催される。前大会に続き今回も現地開催とウェブ開催のハイブリッド形式で実施。分科会では、未来を見据えた薬剤師の姿や、海外の薬剤師業務との比較、へき地・過疎地での薬剤師の役割、災害発生時の対応など盛りだくさんのテーマが設定されている。大会運営委員長 稲葉眞也氏(和歌山県薬剤師会会長)に、メインテーマに込めた思いや見聞などを聞いた。

### 信頼獲得には行動必要

「和の心 未来へ」というメインテーマに込めた思いは、

「和の心 未来へ」というメインテーマに込めた思いは、

「和の心 未来へ」というメインテーマに込めた思いは、

「和の心 未来へ」というメインテーマに込めた思いは、



稲葉眞也氏(和歌山県薬剤師会会長)

現地だけでなくオンラインでの参加も可能だ。ライブ配信は、特別記念講演、特別講演、会長講演、分科会、一部の共催セミナーを対象とし、一般口頭発表やポスター発表は現地発表のみとなる。

前回の宮城大会を参考に、ハイブリッド形式で開催することは当初から計画していた。本日は、一般口頭発表やポスター発表もライブで配信したかったが、経費の関係上やむを得ず断念した。後日のオンデマンド配信も、予算の関係で実現できなかった。

ライブ配信の費用の上乗せによって赤字が見込まれるため、参加費を見直したり、日業からの補助金を増やしてもらったり、経費を削減したりして収支を計画した。予定通りの参加者が集まれば収支は何とかなると見込んでいる。

開催に当たって苦労工夫したことは何か。和歌山県での日業学術大会の開催は初めてになる。小規模な都市で開催に苦労するのは目に見えていたが、担当したいと数年前に手を挙げた。主要な大都市でない学術大会を開催できないのは面白くない。全国でも最も規模が小さいといっ

現地開催に加え、ハイブリッド形式でライブ配信を行う。

現地開催に加え、ハイブリッド形式でライブ配信を行う。

プログラムの見どころや聞きどころは。分科会は計19題ある。未来志向という意味で分科会9は「近未来の薬剤師業務と薬剤師像を考える」をテーマに設定した。厚生労働省の「薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会」の構成員を務める赤池昭紀先生(和歌山県立医大薬学部教授)の基調講演のほか、太田美紀先生(厚労省医薬・生活衛生局総務課薬事企画官)らの講演がある。中央の検討会でのような議論が行われ、どのような薬剤師の未来を描いているのかを話してもらえよう期待している。分科会2「海外の医療制度と薬剤師業務」では、米国、イギリス、ドイツ、台湾で働く薬剤師に各国での業務内容や展望を話していただく。新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、海外のようにも日本でも薬剤師がワクチン接種の担い手になれるかもしれない、と話題になった。実際に海外の薬剤師は、日本の薬剤師への期待(子供たちの未

師のように一包化調剤や在宅医療への関与、投薬後のフォローアップなどきめ細かい関わりをしていくのか、日本と海外でどのように業務内容が異なるのか、そんな話を聞いてみたいと分科会を企画した。海外の現状を知ることが日本の薬剤師の将来を考える上で参考になる。

和歌山県には過疎地が多いことを踏まえ、分科会12「へき地・過疎地における薬剤師の役割」を企画した。また、和歌山県は南海トラフ地震に備えて「薬剤師が果たすべき役割」では、災害発生時の対策を参加者にも考えてもらいたい。

新型コロナウイルス感染症関係として、分科会3「コロナ禍で芽生えた新たな薬剤師業務を考える」、分科会7「新型コロナウイルス感染症の類型変更以降の学校薬剤師への期待(子供たちの未

来のために何ができるか)を設けた。未来の薬剤師の業務を考える上で、分科会8「医療DXのビジョン」と薬局の業務、分科会14「デジタルメディスンの進展と薬剤師の関与」にも注目してほしい。

このほか、薬学教育、OTC、和歌山県薬力が入れているスポーツファーマシスト等に関する分科会を企画している。ぜひ聴いてもらいたい。

一般演題数や参加者数の見込みは。一般口頭発表は約140題、ポスター発表は約270題で、前回大会とほぼ同程度かやや上回るくらいだ。

参加者数は、現地5000人、オンライン2000人の計7000人を目標にしている。新型コロナウイルス感染症の影響で昨年は参加を見合わせる気配も感じられたが、今年はそれが緩和され、今年度はそれが緩和され、より多くの参加者が来てくれることを祈っている。

### 人材教育が大きな課題

近年の薬剤師を取り巻く状況について。薬剤師の責任は増し、業務は確実に広がっている。国民の期待に応えられる薬剤師をどう教育するかが大きな課題になる。責任の重さを自覚しつつ、それに見合った報酬をいただけるように努めないと、優秀な人材が

和歌山県に薬学部ができた影響は。これまで薬学部のない和歌山県に薬学部ができた影響は。これまで薬学部のない和歌山県に薬学部ができた影響は。

社会人になってから学位を取る場合でも、大学が近くにあるのはメリットになる。和歌山県の薬剤師不足の緩和だけでなく、全国から優秀な学生が和歌山に来て育ち、また全国へと羽ばたいていくような薬学部になってほしい。


最後に参加の呼びかけを。和歌山への交通は不便で、和歌山県薬の会員数も1000人に満たないが、できるだけのおもてなしをしたい。

分科会も、将来の薬剤師像を考えられる内容にしている。現地参加がありがたいが、時間を取れない方はオンラインで参加していただければ嬉しく思う。


和歌山への交通は不便で、和歌山県薬の会員数も1000人に満たないが、できるだけのおもてなしをしたい。

Kracie
漢方製剤
ニンジンヨウイトウ
薬価基準収載

## クラシエ 人參養栄湯 エキス細粒



1日2回服用タイプ



1日3回服用タイプ

**効能・効果** 病後の体力低下、疲労倦怠、食欲不振、ねあせ、手足の冷え、貧血

医療用医薬品ウェブサイト 「漢・方・優・美」 [www.kampoyubi.jp](http://www.kampoyubi.jp)

■詳細は添付文書をご参照ください。添付文書の改訂に十分ご留意ください。

スティックで、健やかな暮らしへ

**クラシエ 薬品株式会社**

[資料請求先] 〒108-8080 東京都港区海岸3-20-20

当ファイルの著作権は(株)薬事日報またはコンテンツ提供者に帰属します。当ファイル(印刷物含む)の利用は私的利用の範囲内に限られ、それ以外の無断複製・無断転載・無断引用はご遠慮ください。当ファイル(印刷物含む)を社内資料、営業資料などでご利用される場合はご相談ください。

株式会社薬事日報社 TEL:03-3862-2141 shinbun@yakuji.co.jp http://www.yakuji.co.jp/



### 武智洋一郎先生の横顔

このたび、武智洋一郎先生が2023年度日本薬剤師会賞を受賞されましたことを心よりお祝い申し上げます。

武智先生は、当会の理事を2年、副会長を7年務められた後、16年から20年まで会長に就任され、会員を良く統率し、各種委員会において主導的な立場で積極的に携わり、かかりつけ薬局・薬剤師、ジェネリック医薬品の使用およびセルフメディケーションの推進への取り組み、ならびに処方箋を発行する県医師会、県病院協会、県歯科医師会等との調整に奔走され、患者の立場に立った医薬分業体制の整備等にその手腕を発揮するなど、群馬県における薬業の発展と会の円滑な運営や発展および会員の職能の向上に献身的に尽力され、地域の保健衛生の向上に大いに貢献されました。



#### プロフィール

1970年岐阜薬科大学製造薬学科卒業。製薬会社勤務を経て、カイロス中泉薬局代表取締役。元高崎市薬剤師会理事、元群馬県薬剤師会会長。元日本薬剤師会代議員。群馬県薬事審議会委員、群馬県薬物指定審査会委員、社会保険診療報酬支払基金群馬支部参与などを歴任。旭日双光章、群馬県知事表彰などを受賞。

また、11年に発生した東日本大震災を契機に、災害薬事業務従事者の養成に努め、会として各種の防災訓練等にも積極的に参加するなど、災害対策業務に力を注ぐと共に、かかりつけおよび健康相談機能強化を目的とした事業等を積極的に実施することにより、地域包括ケアシステムの一翼を担う薬局・薬剤師の育成にも尽力されてこられました。

先生には、会長を退任されてからも当会の名誉会長として後輩の指導・育成にお力添えをいただいておりますことに感謝申し上げますと共に、今後のますますのご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。  
(群馬県薬剤師会会長・田尻耕太郎)

### 23年度日本薬剤師会賞

## 受賞者の横顔

## 横顔

### 竹内伸仁先生の横顔

竹内伸仁先生がこのたび栄えある日本薬剤師会賞を受賞されるに当たり、心よりお祝い申し上げます。

先生の北海道薬剤師会での役員歴としては、2000年から理事、常務理事、副会長、会長として約30年間にわたり、本会の幅広い会務・事業に携わっていただきました。



#### プロフィール

1983年北海道薬科大学薬学部卒業。たけうち薬局代表取締役。元北海道薬剤師会会長。元北海道学校保健会副会長。元北海道対がん協会評議員。北海道総合保健医療協議会委員、北海道医療審議会委員、北海道献血推進協議会委員などを歴任。2013年北海道薬剤師会賞を受賞。

先生は温厚な人柄もあり、役員間の和を重視され、諸事について全役員から様々な意見を聞きつつ、本会の円滑な会務運営に最善となる方策を選択され、本会発展にご尽力をいただきました。現在は顧問として、高所

大所よりご意見をお伺いしております。先生の特に顕著なご功績としては、第53回日本薬剤師会学術大会(札幌大会)の開催が挙げられます。開催前年から新型コロナウイルス感染症が全世界で蔓延し、日本でも多くの学会、研修会等が軒並み中止を余儀なくされる中、開催について賛成、反対の意見が均衡しましたが、感染症が蔓延する中でも薬剤師が学ぶ場である大会、研修会は失われてはいけない。そのような状況下でも薬剤師の職能を生かし、大会は行えることを全国に示したいという強い信念のもと学術大会の開催を決断され、限られた準備期間の中で多くの課題を解決した上で、学術大会の開催・成功を収められました。このモデルが以降の学術大会開催にも生かされたものと思っております。

竹内先生におかれては今後とも本会の発展にお力添えをお願いいたたくと共に、ご健勝と一層のご活躍を祈念申し上げます。  
(北海道薬剤師会会長・有澤賢二)

### 岩本研先生の横顔

岩本研先生が、栄えある2023年度日本薬剤師会賞を地元和歌山で受賞されましたことを心よりお祝い申し上げます。

先生を一言で表現すれば、有言実行・率先垂範の先生です。2006年に和歌山県薬剤師会長に就任されてから、若手薬剤師の登用、研



#### プロフィール

1976年第一薬科大学薬学部卒業。薬局勤務を経て、岩本薬局を経営。現和歌山県薬剤師会相談役。元和歌山市薬剤師会会長。元和歌山県薬剤師会会長。元日本薬剤師会代議員。元日本薬剤師連盟幹事長。和歌山県医療審議会、和歌山県献血推進協議会、和歌山県地域保健医療協議会などの委員を歴任。和歌山県知事表彰、薬事功労者厚生労働大臣表彰などを受賞。2020年旭日双光章受章。

修会の充実、他職種や行政との交流等を熱心に行い、近代的な薬剤師会に生まれ変わらせました。会長自ら県内基幹病院等と熱心に協議し、それまでほぼ0%だった県内医薬分業の硬い門を開放しました。11年に発生した東日本大震災および紀伊半島大災害でも、自ら支援チームを率

いて被災地に駆けつけ支援活動を行い、全国3番目のモバイルファーマシー導入につながりました。先生を語る上で欠かせないのは政治活動です。薬剤師会長就任以前から連盟役員として県内各支部の班組織を確立させ、連盟活動の基礎を作り上げると共に、地方議員、知事、国会議員との交流も積極的に行い幅広い人脈を構築されてい

山本会長就任時には日本薬剤師連盟幹事に抜擢され、全国を飛び回り、藤井基之先生、本田顕子先生、神谷政幸先生の支援活動の陣頭指揮を執り、当選に結び付けた手腕は皆様ご承知の通りで、急激に変動する薬剤師業務に係る政策や法律作成に薬剤師の意見を反映させるために大きな貢献をされました。

先生は、酒とゴルフとカラオケをこよなく愛す、見た目とは違わず優しく思いやりのある尊敬できる先生です。これからも無理せず体調に気をつけて、当会相談役として大所高所から私たちを見守っていただければ幸いです。  
(和歌山県薬剤師会会長・稲葉真也)

マイクロジッド®  
プレミアムワイプ  
mikrozid® universal wipes premium

さまざまな環境表面に

欧州標準規格 EN16615をクリア

血液汚染のあるところにも

厚みがあり液含みが良い

開封後1ヵ月安定



本品は医薬品及び医薬部外品ではありません。

<p>ディスプレイやキーボード</p>	<p>スマホやタブレットのタッチパネル</p>	<p>患者ベッド周り</p>	<p>手すりやドアノブなどの高頻度接触面</p>
<p>車いすや待合いすなどの合成素材</p>	<p>診察台とその周り</p>	<p>手術台とその周り、无影灯</p>	<p>プローブなどのノンクリティカル医療機器の表面</p>

●仕様  
品名: マイクロジッド®プレミアムワイプ  
用途: 環境表面の洗浄および除菌  
成分: エタノール12.6w/w%、イソプロパノール17.4w/w%、界面活性剤、有機酸ほか  
サイズ: 200×200(mm)  
枚数: 120枚 使用期限: 24ヵ月

●使用方法  
●ワイプを取り出し、環境表面を拭いてください。●人体・食器・食品の清拭には使用しないでください。●表面が十分に濡れていることを確認し、自然に乾燥させてください。二度拭きは不要です。

●使用範囲  
●テーブル、ベッド欄、ドアノブ、合成皮革ソファ、手すりなどの高頻度接触面 ●非侵襲性医療機器の表面 ●モニター、タブレット、スマートフォン、キーボード ●車椅子、血圧計、採血台、点滴台 ●手術台、処置台、无影灯

●応急処置  
●目に入らないようご注意ください。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗ってください。●なお、症状が重い場合は、眼科医の診察を受けてください。●体に異常が現れた時は、使用を中止してください。●内容物、容器は地域の規則に従って廃棄してください。

●含浸液について  
●引火性の液体および蒸気 ●強い眼刺激 ●飲み込むと発がんのおそれ ●飲み込むと生殖能又は胎児への悪影響のおそれ ●吸入すると臓器(中枢神経系)の障害 ●長期にわたる、又は反復ばく露(吸入)による臓器(肝臓、血液への影響)の障害

●使用上の注意  
●ご使用前に製品安全データシート(SDS)を参照してください。●人体には使用しないでください。●使用後はフタをしっかり閉めてください。●ワイプをトイレに流さないでください。●開封後は1ヵ月以内に使用してください。●熱、直射日光、霜を避けてください。●容器は入れ替えず、室温で保存してください。●幼児の手の届かないところに保管してください。●熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけてください。●機器などに使用する場合は、目立たない部分で試してからお使いください。●PC等、精密機器を使用する際は、その機器の取扱説明書等で清拭方法をご確認ください。●広範囲又は長時間使用する場合、蒸気の吸入に注意してください。

【発売元】シュルケ・ジャパン合同会社 【販売元】丸石製薬株式会社  
【資料請求先】丸石製薬株式会社 学術情報部 大阪市鶴見区今津中2-4-2 TEL:0120-014-561 (2022年2月)



### 中原靖明先生の横顔



プロフィール

このたび、中原靖明先生が来ある2023年度日本薬剤師会賞を受賞されました。このことを衷心よりお祝い申し上げます。

中原先生は、地域医療に情熱を持って取り組まれる傍ら、1996年から山口県薬剤師会理事、副会長を歴任し、2012年には山口県薬剤師会会長に就任さ

加者を得て、成功裏に導かれました。

この学術大会の準備イベントとして、13年から開催の指揮を執られた「山口県薬剤師フォーラム」は、現本会の伝統として、毎年秋口に多くの会員が集い、議論し、意見交換する場として定着しているところで

会長時代は、まずは「自由闊達な議論ができる組織風土づくり」に着手するとの意向で、本会の一般社団法人への円滑な移行、また19年には、本県下関市において開かれた第52回日本薬剤師会学術大会を約1万人の参

さらには、多職種連携の場として専門職を発揮し、高度薬学管理や在宅医療を

1982年福岡大学薬学部卒業。フェアリーメディカ代表取締役。現山口県薬剤師会顧問。現日本薬剤師連盟副幹事長。元山口県薬剤師会会長。元日本薬剤師会代議員。元日本薬剤師会組織・会員委員会委員長。山口県医療審議会委員、山口県薬物乱用対策推進本部委員、社会保険診療報酬支払基金山口支部参与などを歴任。現在、中四国薬剤師国民健康保険組合副理事長。厚生労働大臣表彰、山口県知事表彰などを受賞。

含む地域医療の推進に取り組まなければ、薬剤師の存在価値はないとの強い信念から、山口県等行政機関との連携を強化し、在宅業務・多職種連携支援、薬学的な健康サポート等の新規事業を展開し、薬剤師の社会的プレゼンスを高めると共に、薬剤師会・薬局・薬剤師それぞれの立場で県民の健康に寄り添う環境構築を構築していただきま

現在は、本会顧問のみならず、日本薬剤師連盟副幹事長として活躍中ですが、ますます健康で、精進いただき、さらなる高みを目指していただくことを祈念してご紹介いたします。(山口県薬剤師会会長・吉田力久)

### 山岸美恵子先生の横顔



プロフィール

このたび、山岸美恵子先生が2023年度日本薬剤師会賞を受賞されました。このことを衷心よりお祝い申し上げます。

山岸先生は、1997年に新潟県薬剤師会理事に就任された後、99年に常務理事、2007年に副会長を歴任し、15年から19年まで

の4年間会長として、長年にわたる当会の運営・発展に貢献されてきました。

特に、医薬分業や在宅医療の推進、後発品使用促進、薬学教育6年制への対応などに指導力を発揮されたと共に、会長就任後は、地域医療介護総合確保基金を活用し、無菌調剤体制の整備

1984年日本大学理工学部薬学科卒業。新潟メディカルプラン監事。学校薬剤師。現新潟県薬剤師会相談役。元新潟県薬剤師会会長。元日本薬剤師会代議員。新潟県薬事審議会会長、新潟県医療審議会委員などの委員を歴任。現在、新潟県市介護認定審査委員、新潟県薬物乱用防止指導員、新潟県刑務所篤志面接委員。厚生労働大臣表彰、新潟県知事表彰、新潟県薬剤師会表彰などを受賞。

や認知症対応力向上研修に取り組みなど、薬剤師による在宅医療の推進、地域包括ケアシステムの構築に尽力されました。

04年10月に発生した新潟県中越地震においては、県内外のボランティアの差配や避難所において各種相談に応じるなど、本会の現地対策本部の責任者を務められました。

また、この翌年に発足した

た日本災害医療薬学会の副会長を22年まで長きにわたる務め、災害医療の研究・教育を推進させると共に、安全安心な地域づくりに貢献されました。

ほかに、先生は、薬物・アルコール依存症回復支援施設である「新潟ダルク」の立ち上げから関わられると共に、学校薬剤師、薬物乱用防止指導員、新潟県刑務所篤志面接委員などとして、多方面で活躍されています。

これまでのご風力に對して改めてお礼を申し上げますと共に、先生の今後ますますのご健勝とご活躍を祈念申し上げます。(新潟県薬剤師会会長・荻野構一)

### 西井政彦先生の横顔



プロフィール

西井政彦先生が、このたび、2023年度日本薬剤師会賞を受賞されました。このことを心からお祝いさせていただきます。僣越ながら先生のご功績やお人柄についてご紹介させていただきます。

西井先生は、病院薬剤師として早くから地域医療に取り組みされました。その後、南伊勢町を中心として薬局の経営に携わる傍ら、1995年に三重県薬剤師会代議員就任、その後、地域薬剤師会支部長を歴任され、97年から三重県薬剤師会理事を経て、三重県薬剤師会との合流を果たし、

1981年京都薬科大学卒業。かんひちや薬局経営。現三重県薬剤師会会長。元三重県薬剤師会伊勢支部長。三重県医療安全協議会委員、三重県地方社会保険医療協議会委員などを歴任。現在、三重県薬業団体連合会会長、三重県医療審議会委員、三重県薬事審議会委員、三重県がん対策推進協議会委員、鈴鹿医療科学大学理事。厚生労働大臣表彰、三重県知事表彰などを受賞。

特に、多職種連携に関して、行政や他医療職種との連携強化に取り組み、積極的に推進し、薬剤師がその職能を十分に発揮できるような研修体制を構築して、その向上に寄与されました。

さらに一昨年には、三重県薬剤師会が長年にわたって念願としてあった病院薬剤師会との合流を果たし、

師会副会長、14年から一般社団法人三重県薬剤師会会長として現在まで10年にわたり、強いリーダーシップを発揮され、会賞を牽引し、会の運営・発展にご尽力をいただいております。

特に、多職種連携に関して、行政や他医療職種との連携強化に取り組み、積極的に推進し、薬剤師がその職能を十分に発揮できるような研修体制を構築して、その向上に寄与されました。

さらに一昨年には、三重県薬剤師会が長年にわたって念願としてあった病院薬剤師会との合流を果たし、

古代仏教と万年筆を愛し、夜はボウモアとクラシックを嗜む、何とも芸術的な一面も合わせ持った西井先生にはこれからも会員の先頭に立ち、健康には十分にご留意いただいておりますようお願い申し上げます。

地域医療にとって必要不可欠である薬業連携の道筋ができたことについては、西井先生が病院薬剤師と、開局薬剤師としての両面にわたる深い知見と、地域医療に対する情熱と強い統率力を発揮された結果、成し得たことであると深く感謝いたします。

# G・U・M史上初! 新・殺菌アプローチ

歯周病菌増殖の黒幕まで殺菌  
+ 抗炎症で歯周病予防



【黒幕となる菌(Fn.菌)】

サンスターアメリカ研究員  
Jeremy Elisa

※イメージ



歯周病菌とたたかう



薬用G・U・MデンタルペーストHT 薬用ハミガキ 医薬部外品  
効能: 歯周病(歯肉炎・歯周炎)予防 ※高濃度フッ素配合のため、6歳未満のご使用はお控えください

薬用G・U・MデンタルリンスQA 液体ハミガキ 医薬部外品  
効能: 歯周病(歯肉炎・歯周炎)予防 ※液体ハミガキは、ブラッシング時に使用してください





# 100歳間近 最高齢の現役薬剤師

## 地域住民と顔なじみの関係に

比留間榮子さんは11月に100歳を迎える世界最高齢の薬剤師だ。現在も週に1日、木曜日にはヒルマ薬局小豆沢店(東京都板橋区)で孫の康二郎さんと共に働く。戦争を経験し、「酸いも甘いも経験してきました」と話す「榮子先生」のことは、薬とあまり関連がない人生相談まで持ちかける地域の人たちもいるのだとか。薬剤師のレジデントである比留間さんに薬局や薬剤師があるべき姿や、地域住民に信頼されるための秘訣などを聞いた。

### ヒルマ薬局 比留間 榮子さん

比留間さんは1923年11月6日に東京で生まれた。戦時中の4年に東京女子薬学専門学校(現明治薬科大学)を卒業し、薬剤師歴は80年近くになる。95歳となった2018年にはギネス世界記録「最高齢の現役薬剤師(The Oldest practising pharmacist)」に認定された。

比留間さんの父が東京池袋でヒルマ薬局を創業。比留間さんは100歳になるまで薬剤師を続けるなんて夢にも思っていなかったと語った上で、これまでの人生で最もつらかったという戦争体験について語った。

「私が若かった頃は、食糧不足の時代で、食べるものも苦労しました。戦争中には薬局を開くこともできなかった。太平洋戦争が激化し、爆撃機のB29が毎日のように東京に押し寄せ、東京大空襲の直前に父の実家がある長野県上田市に疎開した。

そして、45年8月に終戦を迎えた。「上田にいても仕方ない、東京に戻ろう」と父の言葉を受け、47年に上田から東京に戻ったが、既に薬局と自宅は焼失しており、一面が焼け野原に変わり果てていた。

比留間さんは今でもその光景が忘れられない。「嘘のような本当の話のだけど、東京が焼け野



ヒルマ薬局小豆沢店

原となったので、北池袋からずっと先にある東京湾が見ることができた。「戦争は怖い。あんな経験は二度としない」と話した。

戦後、池袋に現在のヒルマ薬局を作り、小豆沢に2号店を開局。小豆沢店では康二郎さんが四代目の薬剤師として活躍している。

### 薬局が地域医療支えていた

#### 患者の症状聞き薬で対処

小豆沢店では営業開始となる朝9時から患者が薬局に集まってくる。比留間さんが考える理想の薬局像は、

地域の人の顔なじみになれる薬局だ。

患者のた

が顔なじみの関係を構築するために何をすべきなのか。そんな質問をぶつけてみると、「今は近所の医師に行くのだから、昔は医師や病院が少なく、かぜを引いたときには薬局に行くのが当たり前だったのよ」と教えてくれた。

しらすと、良くなってきたら様子を見て、身体がだるくなってくれば何か薬を付け加えて調剤をすることをしていました。薬包紙で包んで渡していたの」

薬局で診た患者を病院につなぐ場合については、「薬を出した後になかなか熱を下がらないと

「10年以上もヒルマ薬局を利用している方も多くいます。私を見つけると『また来たわよ』と声をかけてくれるの。幸いなことに、薬局には椅子が多くありますし、『ちょっと疲れたのでしょ。少し休んでいって』と話しかけるようになっています。『これまで言ってくれる薬局はほかにないわよ』というやり取りがあって薬局を訪れる人たちと親しい関係となりました」

### 必要なスキルは相談応需

#### 医療と生活面からサポート

これからの薬剤師に必要なスキルは処方箋応需ではなく相談応需という。

と生活の側面からしっかりとサポートしていきたいという理念がある。開業以来10万人以上の相談実績を持つ。

叱咤激励をしたこともありません。怒るのではなく押しつけをせず、話を上手に聞いてあげたら、喜んで帰っていくのよ。難しいことは話さないけど」と笑顔で話してくれた。

「1つのことを頭にに入れて地道にやってくることです。簡単なことですがそれを続けていきたいです」

患者のた

地域の人の顔なじみになれる薬局だ。

患者のた

患者が訴える症状を聞き、それに対処可能な薬を出すのが薬剤師の仕事だという。「咳が出るのか、熱が出ているのか、寒気がするのか症状を尋ねて、咳止めの薬や解熱剤の頓服として、例えば3日分を薬局で

食導援」を提唱し、現代は薬だけでは治らない病気が増えているのを背景に、その人の生活や生活を医療の側面

仕事で心がけていることは「同じことを繰り返

「10年以上もヒルマ薬局を利用している方も多くいます。私を見つけると『また来たわよ』と声をかけてくれるの。幸いなことに、薬局には椅子が多くありますし、『ちょっと疲れたのでしょ。少し休んでいって』と話しかけるようになっています。『これまで言ってくれる薬局はほかにないわよ』というやり取りがあって薬局を訪れる人たちと親しい関係となりました」

「10年以上もヒルマ薬局を利用している方も多くいます。私を見つけると『また来たわよ』と声をかけてくれるの。幸いなことに、薬局には椅子が多くありますし、『ちょっと疲れたのでしょ。少し休んでいって』と話しかけるようになっています。『これまで言ってくれる薬局はほかにないわよ』というやり取りがあって薬局を訪れる人たちと親しい関係となりました」

### JAPIC 医療用医薬品集 2024

2023年9月発売



- ◇ 国内流通全医療用医薬品の最新で正確な添付文書情報をお届けします。
- ◇ 約50年の編集実績による信頼と使いやすさ。
- ◇ 2023年6月後発品まで掲載。
- ◇ 一般名の五十音順で項目を配置し、先発品と後発品の効能・用法の違いを一目で把握できます。医薬品の選択にご活用下さい。
- ◇ 「薬剤識別コード一覧」を掲載。
- ◇ 更新情報メールの無料提供(要登録)。 ◇ CD-ROM付。
- ◇ 分冊にて制作し、本文が見やすく・調べやすくなりました(ケース入り)。

ISBN: 978-4-86515-218-0 B5判 約4,600頁(本文) 価格 14,300円(税込)

### JAPIC 一般用医薬品集 2024(要指導医薬品を含む)

2023年9月発売



- ◇ 医薬品医療機器総合機構(PMDA)・日本製薬団体連合会(日薬連)と連携し、最新の一般用医薬品添付文書を網羅的に収集。
- ◇ 付録として、
  - ・国内副作用報告の状況
  - ・重篤副作用疾患別対応マニュアル(アナフィラキシー他)
  - ・セルフメディケーション税制(医療費控除の特例)対象品目一覧
  - ・リスク区分情報
  - ・ブランド名別成分比較表 等を収録。

ISBN: 978-4-86515-219-7 B5判 約2,000頁 価格 9,900円(税込)

編集・発行 一般財団法人 日本医薬情報センター JAPIC

FAX 0120-181-461 TEL 0120-181-276

発売 丸善出版株式会社

FAX 03-3512-3270 TEL 03-3512-3256

当ファイルの著作権は(株)薬事日報社またはコンテンツ提供者に帰属します。当ファイル(印刷物含む)の利用は私的利用の範囲内に限られ、それ以外の無断複製・無断転載・無断引用はご遠慮ください。当ファイル(印刷物含む)を社内資料、営業資料などでご利用される場合はご相談ください。

株式会社薬事日報社 TEL:03-3862-2141 shinbun@yakuji.co.jp http://www.yakuji.co.jp/



# 薬剤耐性(AMR)対策における薬剤師の役割

## —多職種の協働(和)で取り組むAMR対策

座長  
日本薬剤師会常務理事  
和歌山県薬剤師会常務理事  
橋場元  
徳田純一

よびプル型のインセンティブを探索し、実施すると共に、抗菌薬へのアクセスおよび抗菌薬を慎重かつ適切に使用するための管理を促進することに引き続きコミットする」と宣言された。

2015年のWHO総会において「薬剤耐性に対するグローバル・アクション・プラン」が採択され、G7エルマウ・サミットでは、G7諸国が協調して薬剤耐性菌対策に取り組む方針が盛り込まれた。

世界中で抗菌薬が薬効を示さない耐性菌群が急激に増大している状況であり、これを克服するためには、ワンヘルスアプローチの考えのもと、AMR対策は全世界的な取り組みとして推進することが求められている。

日本では、16年に公表された「薬剤耐性(AMR)対策アクションプラン」が4月に改訂され、薬剤耐性菌の増加を防ぐために、「普及啓発・教育」「動向調査・監視」「感染予防・管理」「抗微生物剤の適正使用」「研究開発・創薬」「国際協力」の六つの分野で、さらなる目標と具体的な取り組みが示された。

本分科会では、AMR対策の世界における取り組みの状況および改訂された「薬剤耐性対策アクションプラン2023-2027」についてご解説いただくと共に、AMR対策における薬局薬剤師の地域における役割、AMR対策につながる具体的な抗菌薬の選択および投与設計、そして、薬局において薬剤師ができるAMR対策の取り組み事例についてご講演いただく。

さらに、5月に開催されたG7広島サミットでは、「薬剤耐性(AMR)の世界的かつ急速な拡大を認識しつつ、24年のAMRに関する国連総会ハイレベル会合に向けて、抗菌薬の研究開発を加速させるためのプッシュ型お

各演者のご講演により、AMR対策の見解が深まり、薬剤師の役割についてさらにご理解いただくと共に、現場での実践を推進するための一助となれば幸いです。

(橋場元)

# 分科会の見どころ・聞きどころ

関連記事

9~10、15~18面

## 海外の医療制度と薬剤師業務

座長  
日本薬剤師会副会長  
和歌山県薬剤師会常務理事  
安部好弘  
西山加津

薬局・薬剤師の業務はいかにあるべきか。現在、厚生労働省の検討会等において、対人業務のさらなる充実、医療のDX推進(電子処方箋・オンライン服薬指導)への対応、タスクシフト・シェアへの参画、確実な医薬品供給体制の構築、リフィル処方箋利用推進のなど、多岐にわたる議論が進められている。

る。  
新型コロナパンデミックは、国家経済安全保障・医療・医薬品提供体制のあり方に大きな変革をもたらした。薬局・薬剤師の業務・役割もその変化に対応することが求められている。わが国では、自宅・宿泊施設療養者への治療薬供給、ワクチン接種の予診・接種後の状態観察、オンライン服薬指導、医療用抗原検査キットの供給・無料検査事業などの取り組みが実施され、その経験と実績を踏まえ中長期的な観点での体制整備を進めることが求められている。

本分科会では、米国、英国、独国、台湾における薬局・薬剤師業務の概要をご紹介いただく。各国の医療提供制度・歴史・文化の違いなどを踏まえて、わが国の薬剤師が今後どのように取り組みを行うべきか、事例を通じてイメージを広げるための議論を展開す

分科会では、各国でのこれまでの具体的なコロナ対応事例、ビヨンド・コロナに向け求められている業務変革や課題等を国際的な視点から議論することにより、わが国の薬局・薬剤師がプロフェッションとして取り組むべき方向性を展望したい。

(安部好弘)

## 薬剤師によるフレイル予防

座長  
日本薬剤師会理事  
和歌山県薬剤師会常務理事  
舟越亮寛  
坂東幹彦

方の提案に関わる役割を担う。処方についてはポリファーマシー状態の解消、合剤の活用、口腔崩壊錠の活用も製剤学の知識を有している薬剤師ならではの関与も大切である。その際には医療、介護の多種専門職との連携が欠かせない。

超高齢社会であるわが国の課題として、高齢者のフレイル(虚弱)を予防することが挙げられる。加齢によるサルコペニア(筋肉低下による運動機能低下)、痛み→引きこもり→社会的な孤立→栄養低下→筋肉低下というフレイル・サイクル、悪循環に陥る。また、転倒や骨折あるいは慢性疾患の悪化をきっかけとして要介護状態になる可能性が高くなり、このサイクルを断ち切ることが重要であり、薬物療法と並行して栄養管理、嚥下管理、社会参加へのケアが必要となる。高齢者は何らかの薬を服用していることも多く、薬剤師が関与することが期待されている。

本分科会では、薬剤師の視点前に医師、栄養士といった多種専門職の視点、地域連携のあり方を前半に紹介いただき、後半に1地域での行政、薬剤師会、薬局での事例を紹介いただく。

具体的には、薬剤師は薬剤の有害事象の可能性や発現のモニタリング、適正使用のための服薬管理方法についての情報を多職種と共有し、薬剤の有害事象の予防、早期発見と対応、代替処

健康サポート薬局制度が2017年に発足後、その役割として薬局から地域住民への健康情報の発信が求められている。近隣の生活者向けにフレイルの予防のための運動や食事のセミナーなどを行いながら、かかりつけ薬剤師として、一人ひとりの患者さんに目を向け、薬のみならず様々な相談を受けながら必要に応じて受診勧奨や主治医へ服薬状況報告を行うこともわが国の課題解決につながるものであり、各地域で推進していくフレイル予防についての理解を深めていただければ幸いです。

(舟越亮寛)

## 医療DXのビジョンと薬局の業務

座長  
日本薬剤師会常務理事  
日本薬剤師会理事  
原口亨  
田中千尋

長年、議論準備が行われてきた電子処方箋は、今年1月から正式に運用が開始された。また、以前から導入が進められてきたオンライン資格確認についても4月から原則義務化となった。

医療情報プラットフォームの構築、電子カルテ情報の標準化等、診療報酬改定DX、医療DXの実施主体などが含まれている。

国は2022年10月に医療分野でのDX(デジタルトランスフォーメーション)を通じたサービスの効率化・質の向上を実現することにより、国民の保健医療の向上を図ると共に、最適な医療を実現するための基盤整備を推進するため、関連する施策の進捗状況等を共有・検証すること等を目的として、内閣総理大臣を本部長とする医療DX推進本部を設置し、本格的に対応を始めている。

全国医療情報プラットフォームはオンライン資格確認等システムを拡充し、分散している医療情報等の共有を進めるものであり、この情報には電子処方箋に伴う処方・調剤情報等も含まれている。合わせて、医療機関・薬局間での共有やマイナポータルでの閲覧可能な医療情報の拡大のためには、電子処方箋のさらなる普及に加え、やり取りする情報の標準化が必要となる。

さて、これらの議論において6月に医療DXの推進に関する工程表が示された。工程表にはマイナンバーカードの健康保険証の一体化の加速等、全国

本分科会では、医療DXの進展に伴い薬剤師や他の医療従事者がどのような情報を得ることが可能となり、また、そのメリットや現時点での問題点、薬剤師として必要な視点やスキルについて、総論的内容に加え実際の取り組み事例を含め、ご講演いただく。

その後、ディスカッションや質疑応答等を含め、テクノロジーを活用した新しい時代の薬剤師や薬剤師業務について意見交換できればと考えている。

(原口亨)

### 湘南医療大学 薬学部 (6年制、定員130名)

試験区分	出願期間	試験日	結果発表日
総合型選抜	9月1日(金)~9月22日(金)	10月1日(日)	11月1日(水)
学校推薦型選抜	I期(一般公募・指定校)	10月6日(金)~10月20日(金)	①10月29日(日) ②11月12日(日)
	II期(一般公募・指定校)	11月20日(月)~12月4日(月)	12月10日(日)
一般選抜	III期(一般公募)	12月25日(月)~1月15日(月)	2024年1月21日(日)
	I期	2024年1月4日(木)~2024年1月19日(金)	①1月27日(土) ②1月28日(日) ③1月29日(日)
	II期	1月29日(月)~2月7日(水)	①2月11日(日) ②2月12日(月・祝)
大学入学共通テスト利用選抜	III期	2月26日(月)~3月6日(水)	3月9日(土)
	I期	2024年1月4日(木)~2024年1月19日(金)	2月7日(水)
	II期	2月1日(木)~2月22日(木)	2月28日(水)
	III期	2月26日(月)~3月15日(金)	3月19日(火)

特待生制度(授業料全額又は半額免除)導入!総合型・学校推薦型I期で受験可能

資料請求 問合せ先  
湘南医療大学 入試事務室 TEL 045-821-0115  
〒244-0806 神奈川県横浜市戸塚区上品濃 16-48  
nyushi@sums.ac.jp



KOKANDO 解熱鎮痛薬

# ロキソプロフェン錠「クニヒロ」

頭痛、生理痛に



第1類医薬品

皇漢堂製薬株式会社 尼崎市長洲本通2丁目8番27号  
TEL 06-6482-5115(代)

ロキソプロフェン錠「クニヒロ」は、プロスタグランジンの生成を抑え、痛みや熱に効果をあらわすロキソプロフェンナトリウム水和物を成分とした錠剤です。

効能効果  
○頭痛・月経痛(生理痛)・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・腰痛・関節痛・神経痛・筋肉痛・肩こり痛・耳痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・外傷痛の鎮痛  
○悪寒・発熱時の解熱



## 薬局における医薬品の 適正使用と事故防止対策

## 患者のための薬局ビジョン実現に 向けた薬局機能向上について

座長  
日本薬剤師会副会長  
和歌山県薬剤師会常務理事  
川上純一  
山本雅子

本分科会では、医薬品の安全使用について焦点を当てる。医薬品安全については、調剤やその準備段階での取り組みから投与後の有害事象への対応までの幅広い観点で留意すべきことがあり、われわれ薬剤師には深い理解が必要である。

はじめに、「今日から減らす！事例で学ぶ調剤エラー防止策」の著者で産業カウンセラーである荒井なおみ先生から「人に焦点を当てた調剤ミス対策を考える」と題して講演いただく。人間関係・個人特性・職場等の環境などの様々な視点から調剤ミス防止への対策や考え方についてご解説いただく。

次に、兵庫県薬剤師会の吉田太郎先生から「患者メリットの最大化につながる薬剤師連携」について講演いただく。兵庫県薬剤師会と兵庫県病院薬剤師会とで取り組まれている適正使用と事故防止に向けた情報共有についての事例をご紹介します。

後半では、日本病院薬剤師会の林昌洋先生から「重篤副作用疾患回避マニュアルの利活用」と、医薬品医療機器総合機構(PMDA)の大澤智子先生から「適切なリスク管理に向けたPMDAの取り組みについて」お話しいただく。前者は重篤副作用疾患回避マニュアルについて、厚生労働省医薬安全対策課委託事業として患者・一般の方向け啓発の目的でアンケートを昨年実施したところ、それ以前に薬剤師への普及も必要であることが分かったために依頼を受けた講演である。後者は毎年恒例のPMDA共催企画であり、医薬品リスク管理計画(RMP)等の医薬品情報の活用についてご専門の立場よりご解説いただく。

一部の医薬品安全管理責任者では管理者向け講習を年間1回以上受講しているが、多くの薬剤師には医薬品安全に係る研修の機会は少ないかもしれない。医薬品安全は日々の調剤や患者の薬物治療に関わる全ての薬剤師に必要な取り組みであり、日薬学術大会での本分科会をぜひ活用していただければ幸いである。

(川上純一)

座長  
日本薬剤師会理事  
和歌山県薬剤師会常務理事  
山田武志  
古川晴浩

2019年に「医薬品医療機器等法」が改正され、21年8月には認定薬局制度が創設された。本制度では、患者が自身に適した薬局を選択できるよう、要件を満たした薬局がそれぞれ「地域連携薬局」や「専門医療機関連携薬局」を標榜することが可能となったが、制度が施行され2年が経過した今、改正薬機法で見直された薬局の定義や患者のための薬局ビジョンで示された薬局の機能を実効あるものにするのが求められており、本分科会では地域の薬局に求められる役割を改めて議論し、地域全体で患者を支えるために何が重要であるかについて議論する。

基調講演では「地域全体で患者を支えるために薬局ができることー協働と連携」と題して、京都大学医学部附属病院薬剤部の寺田智祐教授に昨今の医療制度改革を振り返りながら、地域全体で患者を支えるために薬局に期待す

ることや、京都大学医学部附属病院薬剤部における地域連携に関する取り組みなどについてご講演いただく。

次に「地域連携による薬物療法、医薬品提供体制への貢献」と題して、よりどころ薬局の寺井竜平氏から、中山間地域において面薬局として開局した事例をもとに、地域連携の推進やその連携がもたらした薬物療法の事例、そこから見えてくる薬局・薬剤師の地域における役割などについてご講演いただく。

続いて「がん治療における医療機関との連携を生かした患者サポート」と題して、長野県薬剤師会会営薬局の村田稔弥氏から、専門医療機関連携薬局として医療機関との連携・情報共有や癌患者へのサポートの実例などについてご講演いただく。

最後に「薬局製剤の活用法と面白さ」と題して、マルトク薬局の徳永大祐氏から薬局製剤の処方提案事例を通して、薬局製剤の面白さや地域住民への貢献についてご講演いただき、総合討論として、患者のための薬局ビジョン実現に向け、今後の薬剤師の役割について議論を行う。(山田武志)

## OTC医薬品と薬剤師、OTC医薬品は 今後どうなっていくのか。

座長  
日本薬剤師会常務理事  
和歌山県薬剤師会常務理事  
岩月進  
坪山晃大

日本薬剤師会は、地域において、必要な医薬品を適切に過不足なく提供することは薬剤師の基本的な使命であるとした上で、薬剤師・薬局は、国民のために、持てる全ての知識と経験を駆使してその使命を果たしていく、と政策提言の中で明確に示している。

これは、地域包括ケアシステム下において、OTC医薬品を含めた医薬品の提供は薬剤師サービスの基本であると位置づけた考え方である。そして、医師はもとより関係する医療や介護従事者をはじめ、薬局と保険者などが連携できる仕組み作りなど、セルフケア/セルフメディケーションを推進するため、OTC医薬品の使用促進に係る数値目標の設定と行うべき対策を整理し、OTC医薬品をより効果的に利用できるようにすべきである、としている。さらに、薬局の

経営面から考えても、今後の処方箋枚数の伸びは限定的であり、調剤以外の業務を充実する観点からも、OTC医薬品販売、相談応需を含めた使用環境の整備は緊急に取り組むべき課題である。

また、「緊急避妊薬」については、薬剤師による販売の実現性等を確認するための調査研究の実施が目前に迫り、薬剤師が国民の期待に十分にこたえなければならない場面である一方で、一部で見られる不適切ないわゆる「零売薬局」問題や、規制改革会議等による販売方法の変更提案など、適切な医薬品提供のために薬剤師・薬局が対応すべき課題は山積している。

薬剤師・薬局が、地域において、OTC医薬品を含めた必要な医薬品の提

供を適切に過不足なく提供し、セルフケア/セルフメディケーションを推進していくために、本分科会では、製薬団体である日本OTC医薬品協会理事長の磯部総一郎氏、保険者の視点から三菱商事健康保険組合常務理事の柴生達夫氏、医師であり、医療用医薬品とOTC医薬品の成分重複問題の解決に注力しておられるプラメドプラス代表取締役の平憲二氏、一般開局薬剤師として、光栄堂薬局代表社員の堀川壽代氏、元ドラッグストア勤務薬剤師として、京都薬科大学特命教授の杉本幸枝氏からそれぞれの立場を代表してご意見をいただき、その後、意見や情報の交換と共有が図られる分科会になればと考えている。(岩月進)

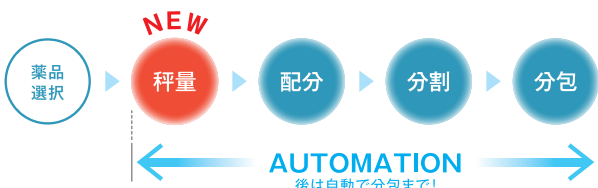
理想の医療空間をカタチに。患者さんと向き合う時間創出を目指して。

業界初!

円盤式分包機に **自動秤量機能** を搭載。

秤量から分包まで、**SR-zero**にお任せください!!

調剤スペースで薬剤師の先生方が調剤作業を行う時間を「ゼロ」に。患者さんへのコミュニケーションだけでなく、服薬指導や在宅医療に取り組む薬剤師の活躍を支えます。



自動秤量機能付き散薬分包機



散薬カセットを装着するだけ!



大阪本社ショールームにて実機をご覧いただけます。

また、Zoom®を使用し、弊社大阪ショールームを繋いだWEB見学会も実施しています。お申し込みについては右記2次元コードからアクセスして下さい。

※Zoomは、Zoom Video Communications, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。



EXHIBIT

「第56回日本薬剤師会学術大会」に出展します。和歌山県民文化会館・小展示室でお待ちしています。

当ファイルの著作権は(株)薬事日報またはコンテンツ提供者に帰属します。当ファイル(印刷物含む)の利用は私的利用の範囲内に限られ、それ以外の無断複製・無断転載・無断引用はご遠慮ください。当ファイル(印刷物含む)を社内資料、営業資料などでご利用される場合はご相談ください。

株式会社薬事日報社 TEL:03-3862-2141 shinbun@yakuji.co.jp http://www.yakuji.co.jp/



# 災害薬事リーダーを育成

災害薬事リーダーを対象に和歌山県薬業会館で今年5月に災害対策研修会を開いた



## 和歌山県薬

和歌山県薬剤師会は会員の薬剤師を「災害薬事リーダー」として育成する独自事業に取り組んでいる。県内での災害発生時に各地域と県薬本部等を橋渡しする役割を担い、被災者への医薬品調剤やOTC提供が円滑に行われるように支援するもの。2018年度から研修や訓練を開始し、県内8地域で計50人を育成した。今年度も5月に訓練を実施。いつ起こるか分からない災害の発生に備えている。



災害薬事リーダー用に専用の帽子を制作した(右は和歌山県薬の岩城副会長、左は大桑常務理事)



研修会では多数の参加者が各種ツールの使い方などを体験した

## 各地と県薬本部を橋渡し



参加者は、各医療機関の投薬や検査等の情報を共有する医療連携システム「青洲リンク」を災害時に使用する方法を修得した



災害時に情報を時系列に並べて整理する「クロノロジー」の手法も学んだ

南西に長い海岸線を持つ和歌山県は、近く発生すると予想される南海トラフ地震によって大きな被害を受ける可能性がある。災害発生時には、災害派遣医療チーム(DMAT)など県外の支援班と県内の医療従事者が協力して、救護所等で被災者に医療を提供する。医薬品調剤やOTC提供を円滑に行うために、県薬本部等との橋渡し役となって各地で活躍できる薬剤師を災害薬事リーダーとして育成している。

こうした人材を育成する契機となったのは、16年に発生した熊本地震。和歌山県薬の救護班が現地へ出向き、様々な教訓を得たという。

和歌山県薬常務理事で災害対策委員会委員長の大桑邦稔氏は「和歌山県は、近く発生すると予想される南海トラフ地震によって大きな被害を受ける可能性がある。災害発生時には、災害派遣医療チーム(DMAT)など県外の支援班と県内の医療従事者が協力して、救護所等で被災者に医療を提供する。医薬品調剤やOTC提供を円滑に行うために、県薬本部等との橋渡し役となって各地で活躍できる薬剤師を災害薬事リーダーとして育成している。」と語る。

国は、各都道府県に「災害薬事コーディネーター」の設置を要請しており、和歌山県でも第8次医療計画に役割や担当職種等が明記される見通しだ。詳細はまだ固まっていないが、大桑氏は「われわれが育成した災害薬事リーダーの中から、災害薬事コーディネーターになる薬剤師が現れ、災害発生時には両者が連携して取り組むことを期待している」と語る。



いつでも、簡単に  
オンライン診療・服薬指導\*が行えるようになりました。

カイトス  
**KAITOS**  
オンライン診療・服薬指導システム

\*医師の判断により通院が必要な場合があります

**共創未来グループ**

医療機関の検索から申込・診療  
お薬の受取や服薬指導までワンストップで対応

KAITOSの特徴

- ① 医療機関検索サイト「病院なび」と連携
- ② 専用コールセンターによる安心サポート
- ③ 豊富な販促資材で集客もサポート

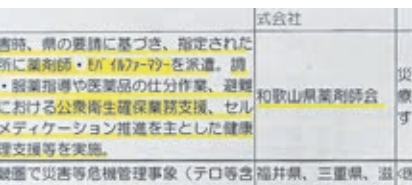
▼お問い合わせはこちら

東邦薬品株式会社 CS本部  
東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー12階  
TEL:03-6838-2822  
平日9:00~17:00(年末年始・土日祝日を除く)



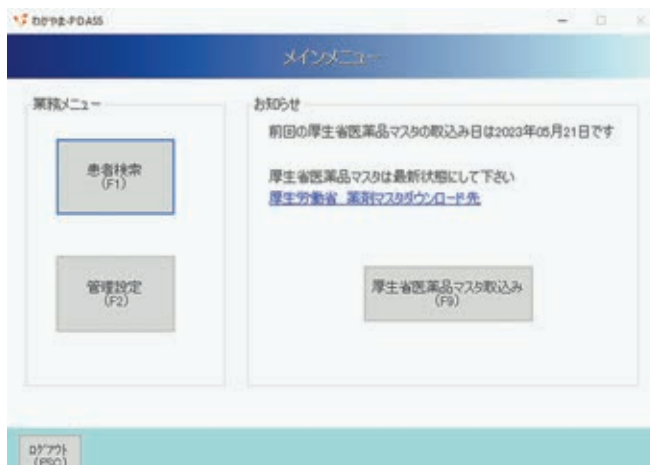
# 自のソフトウェアを開発

## 災害者の処方情報など管理

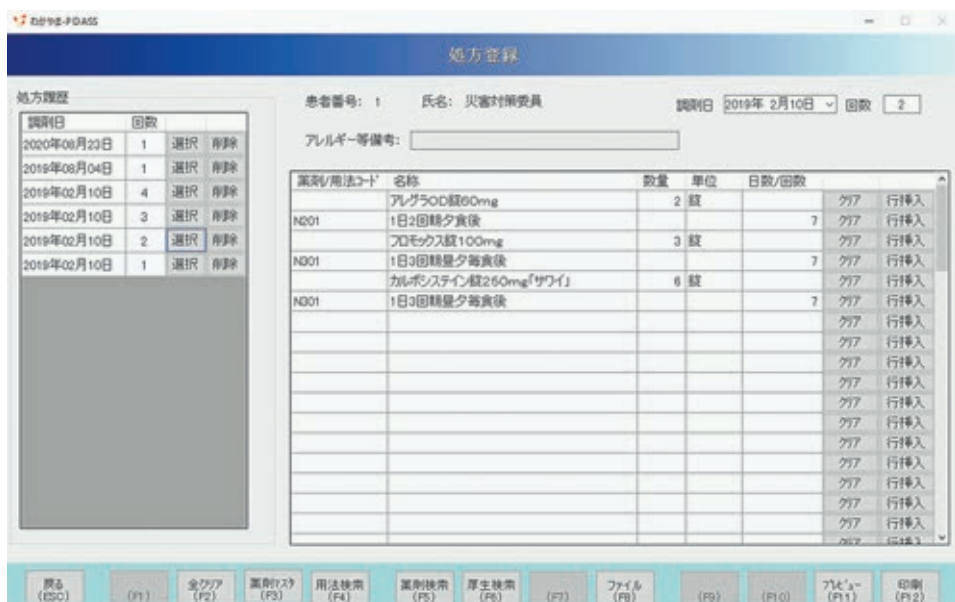
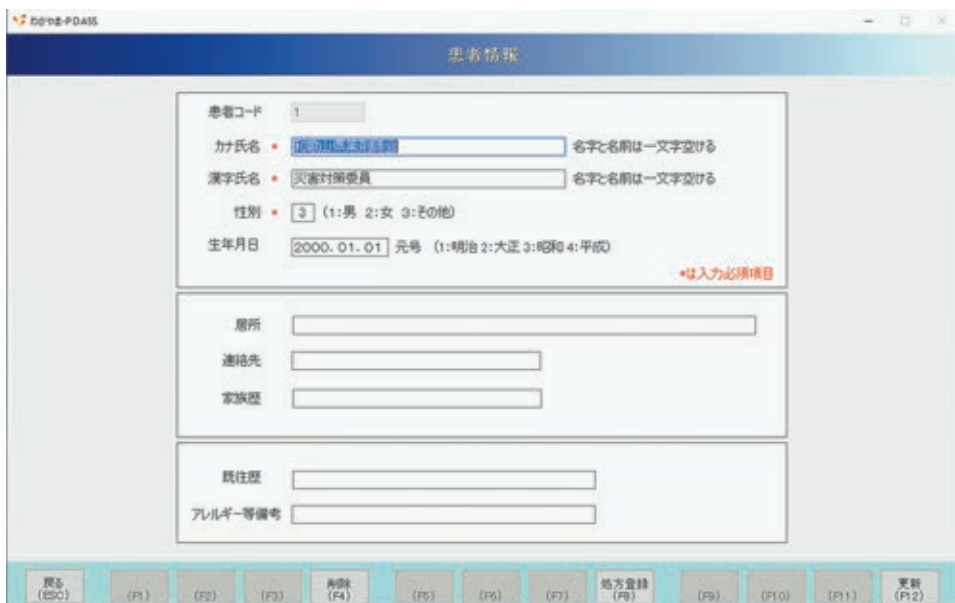


同マニュアルには「モバイルファーマシー派遣」の文言が盛り込まれた

救護所に持ち込んだパソコンで「わかやま-PDASS」を立ち上げ、被災者の情報を管理できる



災害発生時に薬剤師が救護所等で使用する独自のソフトウェア「わかやま-PDASS」を開発した



厚生労働省の医薬品マスタを取り込み、患者の処方情報を管理できる

和歌山県薬は、熊本地震の支援に出向いた経験を生かし、災害発生時に薬剤師が救護所等で使用する独自のソフトウェアも開発している。

名称は「わかやま-PDASS」。救護所に持ち込んだパソコンでソフトウェアを立ち上げて、被災者の氏名や居場所、連絡先、既往歴、アレルギー歴、処方情報等を入力して管理できる。

袋に記載し、患者に渡していた。手間や時間がかかるだけでなく、判読しづらい手書きの文字は、誤薬につながる可能性もある。こうした反省をもとに18年に開発した。このソフトウェアをいつでも使えるように、災害薬事リーダーは訓練を積んでいる。

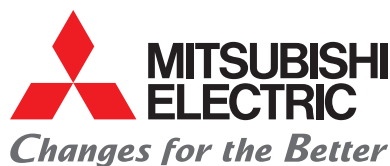
和歌山県薬は14年に、災害時の医薬品調剤など薬局機能を有した災害対応医薬品供給車両(モバイルファーマシー)を導入。全国の薬剤師会で3番目の早さとなる導入で、熊本地震の支援でもモバイルファーマシーが活躍した。

一包化や散剤の調剤に使える分包機や保冷庫を備え、水や電気を使える。当初は車内にトイレやシャワーを設置していたが、救護所での活動には不要であることが分かり、後に撤去。空いたスペースに医薬品保管庫を新設した。

災害時に薬局として機能する有用性が認められ、和歌山県の「地域防災計画」や「災害時医薬品等供給マニュアル」には、モバイルファーマシーの文言が盛り込まれている。和歌山県と県薬の協定内容として「災害時、県の要請に基づき、指定された場所に薬剤師・モバイルファーマシーを派遣」と記載。災害発生時には、モバイルファーマシーを薬局と見なし、卸から医薬品を購入できることが明示された。

大桑氏は「モバイルファーマシーが救護所から医薬品を卸に発注することは法的にはグレーだったが、こうしてマニュアルに明記されることで、業務をやりやすくなる」と強調する。

災害時、モバイルファーマシーから卸に医薬品を発注できるシステムも確立した。ケーエスケアのシステム「PharPlus」を利用したもので、複数の卸を対象に利用できる。購入費は和歌山県薬の会費薬局で精算する仕組み。これでモバイルファーマシーの機動力がさらに高まった。



# 薬局大航海時代! ~未来への羅針盤~

医療DXの一步先へ、薬局コミュニケーションサービスの未来を目指す。

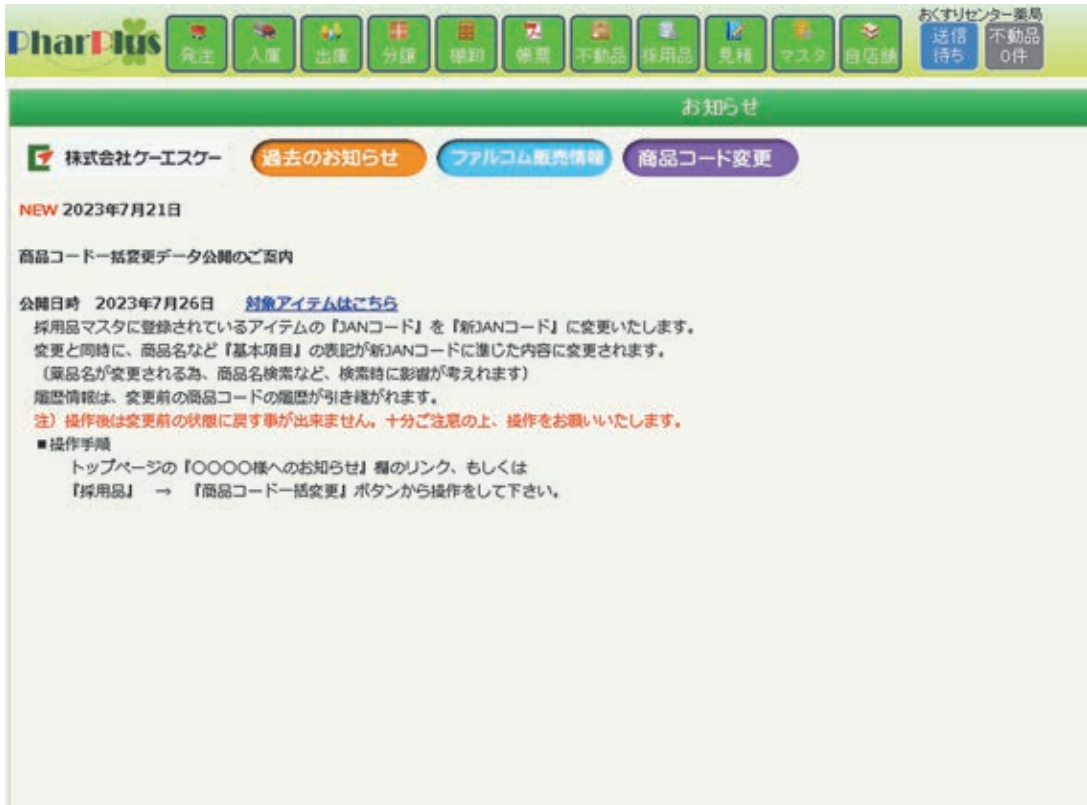


保険薬局システムの詳細は [メルフィン](https://www.mdsol.co.jp/melphin/) <https://www.mdsol.co.jp/melphin/>

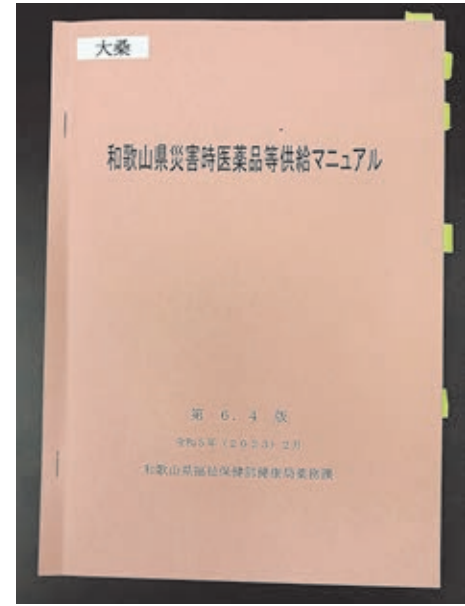
※Any COMPASS®、Any COMPASS ロゴは、三菱電機ITソリューションズ株式会社の登録商標です。※Melphinは、三菱電機ITソリューションズ株式会社の登録商標です。

三菱電機ITソリューションズ株式会社 MDSOL





災害時、モバイルファーマシーから卸に医薬品を発注できるシステムを確立



和歌山県の「災害時医薬品等供給マニュアル」



＜関係機関別の医薬品等確保方法＞

関係機関	確保方法(優先順)
医療機関、薬局	① 自らの在庫を使用 ② 平時の取引先からの購入 ③ 県への供給要請 <small>※急性期においては、災害拠点病院・災害支援病院への供給が優先されるため、その医療機関・薬局への供給は遅延する可能性がある。</small>
SCU	① DMAT 携行品を使用 ② 県への供給要請
救護所	① 医療救護班等が携行した医薬品(モバイルファーマシーが配属される場合はモバイルファーマシー登録医薬品)、救護所在庫品を使用 ② (市町村備蓄医薬品がある場合) 市町村への供給要請 ③ (市町村備蓄医薬品がない場合) 市町村、県を通じて、販売業者に供給要請が常態化してきた場合は、販売業者に直接連絡(市町村備所開設時に要請連絡先を伝えておく)

同マニュアルには、災害発生時にモバイルファーマシーを薬局と見なし、卸から医薬品を購入できることが明示された



「災害」で市民への説明を担当した和歌山県薬のスタッフ



今年8月に大阪赤十字病院で開かれた体験型の防災セミナー「災害モバイルファーマシー」を展覧。一般市民に内部を見学してもらった

# いま薬歴は「電子化」から、「クラウド化」へ！

日本初の※

## クラウド型 電子薬歴 Medixs

いつでも・場所を選ばず利用できて、クラウド型なのでデータ蓄積による反応・検索速度が低下せず、軽快な動作で業務効率化を支援します。※自社調べ

第56回 日本薬剤師会学術大会(和歌山) 展示会 Medixsブースへのご来場予約をいただいた方に、Medixsオリジナルノベルティを1点プレゼント!

※数に限りがございますので、あらかじめご了承ください。

- ちょっとしたメモに便利な付箋
- 1本あると便利! シヤチハタ機能搭載
- 調剤作業にかかせない
- 持ち運びに便利なウェットティッシュ



ランチョンセミナー同時開催

ランチョンセミナー

南條先生のちょっとだけ「がんばれば」できる。小児在宅医療と薬剤師の関わり

登壇: 医療法人種彦会「かやまクリニック」院長 南條 浩輝 先生  
日時: 2023年9月17日(日) 12:30~13:30  
会場: ダイワロイネットホテル和歌山 4F グラン

端末指定なし。iPadでも利用可能。  
※Androidは保証対象外

展示会ブース F5 ※会場入口右側

ぜひ Medixsブースへお立ち寄りください。お申込みをお待ちしております!

右記QRコードからお申込みください。展示会来場予約 QRコード ▶▶▶

展示会場: ホテルアパローム紀の国2階 鳳凰の間+ホワイエ



03-6427-9800 お気軽にお問い合わせください (平日受付09:00~18:00)



※電子薬歴『Medixs』『メディクス』はアクシスホールディングス株式会社の登録商標です。  
※文中に記載された会社名および製品名などは該当する各社の登録商標または商標です。





熊本地震ではモバイルファーマシーで現地に出向き被災者の支援を行った



益城町でDMATと一緒に支援活動を展開した(中央にいるのは第一班で出務し指揮をとった和歌山県薬の稲葉会長)



救護所の長陽中学校でモバイルファーマシーによる調剤を実施

救護所の長陽中学校でお薬相談室も担当した



モバイルファーマシーは和歌山県薬業会館敷地のガレージに収納している



# モバイルファーマシーで支援

和歌山県薬のモバイルファーマシーが初めて災害の支援に出向いたのは、16

年の熊本地震だ。和歌山県薬のメンバーが交代しながら現地で3週間、支援活動を行った。人員派遣を切り上げた後も、モバイルファーマシーは現地に残り、他の支援チームに数カ月間使ってもらった。

入れ替わり、持ち込む薬もその都度異なる。毎回、薬をリスト化する作業が必要で、和歌山に残ったメンバーに薬の写真を送信し、名称や数量を確認してもらった。リスト作成には持ち参ったパソコンやプリンタが役立ったという。

要が高く、モバイルファーマシーに搭載した急性期疾患用の薬を使う機会はまだなかった。熊本県薬から必要な医薬品の提供を受けたほか、卸から必要な薬を調達し、モバイルファーマシーで調剤した。これまでの経験が和歌山県の「災害時医薬品等供給マニュアル」等に反映された。

薬剤師は救護所の衛生環境を保つ役割も担った。二酸化炭素濃度を定期的に測定し、高いようなら換気して新鮮な空気を取り入れ、被災者の健康維持を支えた。

夜間にモバイルファーマシー車内で薬剤リストを確認する



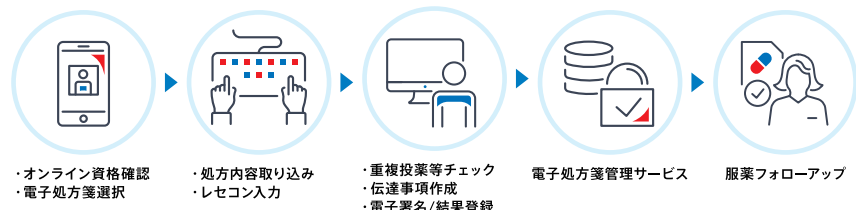
## 16年の熊本地震、数カ月設置

データ活用の可能性を拡げる薬局向け業務システム

電子薬歴レセコン一体型



「P-CUBE n」は、患者さまの薬物治療や地域住民の健康を支える拠点の薬局向け業務システムとして、オンライン資格確認・電子処方箋・服薬フォローアップに対応しています。



第56回 日本薬剤師会学術大会 会場 和歌山城ホール 4階 2023.9.17日-9.18日(祝) ユニケ展示ブースへぜひお立ち寄りください。

株式会社ユニケソフトウェアリサーチ 03-6747-0030 P-CUBE n 検索 〒105-0012 東京都港区芝大門2-5-5 住友芝大門ビル7階



# 分科会の見どころ・ 聞きどころ

## CKD患者に対して 薬局薬剤師が出来ること

座長  
日本薬剤師会理事  
井深宏和  
和歌山県薬剤師会常務理事  
武田千晴

わが国の透析患者は増加傾向にある。これは人口の高齢化が進んでいることに加え、糖尿病患者の増加とその合併症である糖尿病性腎症が増加しているためであると言われている。また糖尿病に限らず高血圧、動脈硬化を主因とする腎硬化症もあり、今後、高齢化に伴ってCKDの予防と重症化抑制の重要性はさらに増していく。

CKD患者は、薬物の排泄機能低下に伴い、薬効の増強だけでなく副作用の発現リスクも高い。また複数の薬剤が投与されることも多いことから、相互作用を含めた医薬品の適正使用には十分な注意が必要である。そのため、薬を一元管理できる薬局薬剤師としての役割はとて大いと考えられる。

本分科会では、基調講演として、和歌山県立医科大学腎臓内科学講座の大矢昌樹准教授から、「医薬連携を通じたCKD重症化予防」として薬局薬剤師の役割の重要性について、検査データの共有やCKDシール事業を通じた病薬連携や服薬アドヒアランスの観点からCKD重症化予防について講演い

ただ。次いで、東京医科大学病院薬剤部の竹内裕紀薬剤部長から、本分科会のテーマを実践するためには、薬物体内動態の基本的知識を身に付け、それを駆使していくことが重要であり、CKD患者に対する薬物投与量調節もその一つであることから、「現場で役立つ薬物体内動態の知識—薬剤師なら使いこなそう」について講演いただく。

続いて熊本大学大学院生命科学研究部臨床薬理学分野の近藤悠希准教授から、適切に腎機能を評価した上で減量することで過量投与や有害事象を回避でき、そこに薬局薬剤師が関与することが大切であることから「薬局薬剤師視点で実践する腎機能低下患者における薬物療法の最適化」について講演いただく。最後にメイプルかも調剤薬局の東俊之氏から地域住民の腎臓を守るための実際の取り組みについて「薬局による腎機能数値の積極的な把握と腎機能共有ツールの作成」と題して講演いただく。

本分科会では、薬剤師として薬学的に薬の面からアプローチして患者の腎臓を守るためにできることを検討することにより、ご参加の先生方の日々の業務に生かしていただける知識を得る機会となれば幸いです。

(井深宏和)

## へき地・過疎地における薬剤師の役割

座長  
日本薬剤師会常務理事  
豊見敦  
和歌山県薬剤師会常務理事  
小林仁

薬剤師・薬局は、患者が必要とする医薬品を地域に過不足なく提供する責任を負っており、地域住民が薬剤師サービスを受用できる体制の整備が重要である。日本薬剤師会では政策提言において、この医薬品提供体制構築の重要性を指摘している。

へき地への医療提供体制については、都道府県が制定する医療計画においてその体制構築に向けた施策が定められており、へき地診療所への支援や医師確保などが策定されている。へき地の医療体制確保に当たっては医薬品の提供体制構築も重要な観点であるが、薬局/薬剤師を含めた体制が構築されている例は少ない。

今後はオンライン診療やオンライン服薬指導も含めて、へき地に暮らす住民に対する医療サービスが継続して実施される体制の構築が求められており、へき地医療における薬剤師の役割りを同定していくことは地域医薬品提供体制の構築に向けても非常に重要な

意味がある。  
元夕張市立診療所院長の森田洋之氏からは、医療経済学の立場から夕張の事例をもとに日本の医療界全体が学ぶべき点を解説していただき、地域医療における薬剤師のあるべき姿について論じていただく。

続いて夕張市立診療所の在宅医療を中心とした医療への転換や、地域医療の方向性に関する住民も含めた合意形成に際して薬局薬剤師が果たした役割について、アインファーマシーズの小島多加志氏に詳細をご報告いただく。

京都で“地域共生社会”と“社会的処方”をキーワードに薬局のアウトリーチ活動を展開するゆう薬局グループの船戸一晴氏からは、実践事例を通じて薬剤師がコミュニティケアに関わる有用性についてご説明いただく。

薬学教育の観点からは、二次医療圏の医療偏在を学ぶ地域医療薬学実習について、和歌山県立医科大学薬学部教授須野学氏より発表いただき、地域医療の現場で進める教育についての認識共有を図る。

本分科会では、この4講演を軸にへき地・過疎地における薬剤師の役割を考える。

(豊見敦)

## 薬局薬剤師の地域貢献

### —地域住民の健康増進や環境向上のために何が出来るか

座長  
日本薬剤師会副会長  
田尻泰典  
和歌山県薬剤師会常務理事  
坪山晃大

医薬分業の進展等により、薬剤師および薬局を取り巻く環境は大きく変化し、原点に立ち返り、現在の薬局を患者本位のかかりつけ薬局への推進を図るため「患者のための薬局ビジョン」が厚生労働省から示されたのは2015年10月であった。また、超高齢化・人口急減の到来に向け第8次医療計画(24~29年度)の策定が進められている。

「対物から対人に、薬局から地域へ」を果たし、薬剤師・薬局が地域に根ざした存在になるために何をなすべきか。本分科会ではまず、日本薬剤師会常務理事の荻野構一氏から「地域での保健医療推進のために薬局薬剤師に期待すること」として基調講演をいただき、和歌山県立医科大学薬学部教授の岡田浩氏から「地域住民の健康と生きがいを支える場としての薬局：国内外の臨床研究成果から」と題し、地域住民の

医療へのアクセス維持し、生活の質を維持するために、アクセスが良く、医療専門職である薬剤師が常駐している薬局という場を活用した取り組みとして、海外の薬局の取り組みと国内外の薬局における臨床研究の成果を紹介いただく。

続いて、京都大学大学院生命科学研究科付属放射線生物学研究センター特任教授(京都大学名誉教授)の渡邊正己氏から「活物窮理が医療の原点であることを知ろう」として、教育者あるいは科学者としての目で薬局を取り巻く状況を分析し、薬剤師としてどのように地域貢献に取り組み、地域住民の健康増進のために何が出来るかについての考えを紹介いただく。

最後に、宮崎県薬剤師会副会長の青木浩朗氏から「地域活動 気軽に相談されるようになるために必要なこと」と題し、健康フェアやお薬相談など薬局が主体で行う様々な地域活動が行われている中で、健康に関わる相談の事例を挙げていただく。今後のわれわれの薬剤師業務に生かしてほしい。

(田尻泰典)

### 調剤に携わる『全薬剤師』必読の一冊！

# 第十四改訂 調剤指針 増補版

日本薬剤師会 編

調剤の概念や処方箋、処方監査、疑義照会、後発品対応、製剤ごとの取扱い、医薬品管理など薬剤師(調剤)業務に関するガイドラインとなる『指針』を示し、その内容を日本薬局方や関係法令に基づきわかりやすく解説した規範書。

B5判/448頁/定価 5,280円(本体 4,800円+税)

薬事日報社 ご注文はオンラインショップへ(<https://yakuji-shop.jp/>)





乾燥肌の治療薬

# ピーソフテン®

保湿 抗炎症 血行促進

保湿力を高める

**クリーム**

販売名: ピーソフテンクリーム  
内容量: 100g 第2類医薬品

広範囲に塗りやすい

**スプレー**

販売名: ピーソフテンスプレー  
内容量: 100g 第2類医薬品

スーッと浸透する

**ローション**

販売名: ピーソフテンαローション  
内容量: 50g 第2類医薬品

塗りやすい泡タイプ

**泡スプレー**

販売名: ピーソフテン泡スプレー  
内容量: 100g 第2類医薬品

帝国製薬グループ  
テイクコファルマケア株式会社  
<http://www.teikoku-pc.co.jp/>

〒769-2695 香川県東かがわ市三本松567番地  
TEL 0879-25-7771 FAX 0879-24-1611





### デジタルメディスンの進展と薬剤師の関与

座長  
日本薬剤師会副会長  
和歌山県薬剤師会常務理事

渡邊大記  
尾原崇

医療におけるICTの活用が進む中、デジタル技術を用いた治療(DTx: Digital Therapeutics)として、治療用アプリの海外での実用化が進みつつある。この治療用アプリについては現在、製薬企業、ベンチャー企業各社により開発が進められており、わが国においては、2020年に最初の承認がなされた「ニコチン依存症治療アプリおよびCOチェッカー」をはじめ、その後「高血圧治療補助アプリ」や認知行動療法の普及を目指した不眠障害に対する「不眠障害用アプリ」がプログラム医療機器として承認されている。現在はこれら3製品にとどまっているが、治療における新たな手段として注目されており、既存の薬物療法との併用による相乗効果や医療費削減効果などが期待されている。

一方で、DTxに用いる医療機器を使いこなすには一定のデジタルリテラシーおよびヘルスリテラシーが必要であり、患者にいかに活用方法を理解し

て治療を継続してもらえかが適用する際の課題となる。実際の臨床現場における使用では、多くの患者を抱える医師が直接、アプリの使用法の説明や使用におけるトラブル等への対応は大きな負担となるため、医師による診断のもと薬剤師がその適正使用に係る任を担い、処方と調剤の関係を治療用アプリへも適応させていくことを考える必要がある。また、適応された患者が治療用アプリを使用していくに当たっては継続性が重要であり、そのために使用状況を把握した上でのフォローアップを薬剤師が担い、処方医と連携していくことが治療用アプリの効果につながるだろう。このような薬剤師の関与のためには制度上の整備も必要になってくる。

治療用アプリの今後のさらなる普及に向けた薬剤師の関与について考えると共に、現在の承認状況、またIoTデバイスを用いた薬局・薬剤師での情報収集の調査や実際に開発に当たっている企業の実情についての理解を深めたい。その後にはディスカッションを行い、それぞれの現場における今後を見据えた対応をするための知識を得る機会となることを望む。

(渡邊大記)

### やがて来る南海トラフ巨大地震に備えて

—薬剤師が果たすべき役割

座長  
日本薬剤師会常務理事  
和歌山県薬剤師会常務理事

山田卓郎  
大桑邦稔

近代日本の首都圏に未曾有の被害をもたらした関東大震災から100年の節目にあたる今年、本分科会では30年以内の発生確率80%の高確率かつ想定される被害面積と規模が非常に大きな南海トラフ巨大地震の発生に備え、薬剤師が果たすべき役割とそのための準備について考えたい。

基調講演として社会安全研修センター長の河田恵昭氏から「南海トラフ巨大地震を国難災害としないための解決策」と題し、予知ができない突然起こる地震での被害を劇的に減らす方策を、災害時に起こる社会現象としての「相転移」からご説明いただく。

阪神淡路大震災後には、災害時の初期救急体制が不十分であることが指摘されたが、東日本大震災以降の災害対策では避難生活者への保健医療が新たな課題となり、様々な保健福祉に関わる支援チームの調整体制整備が進められようになった。このように多

くの災害を経験することで災害医療体制が見直され、地域の災害医療体制整備がなされてきている。この中で薬剤師には、医薬品管理業務を中心とした各医療チームの後方支援にとどまらず、薬剤師業務全般を保健医療福祉調整本部の中で担っていくことが求められている。被災地で薬剤師に望まれる活動について医師の視点から有田市立病院管理者である加藤正哉先生に、そして薬剤師である兵庫医科大学危機管理医学講座助教授の渡邊暁洋先生から薬剤師の可能性についてご講演をいただく。

続いて熊本県薬剤師会の福原慶寿専務理事からは熊本県が2018年に策定した「熊本県災害時医療救護マニュアル」に基づき、20年7月豪雨災害で実際にコーディネーターを派遣し、他の医療・保健関係団体と連携した活動についてご報告をいただく。その後、南海トラフ巨大地震に備える発災後の和歌山県での行動計画について、和歌山県薬剤師会の古川晴浩常務理事からご紹介いただき、今後の大規模災害に備えて準備すべき事項と薬剤師が果たすべき役割について考えたいと思う。

(山田卓郎)

### 近未来の薬剤師業務と薬剤師像を考える

座長  
日本薬剤師会副会長  
和歌山県薬剤師会常務理事

森昌平  
太田力与子

超高齢社会、多死社会が到来すると共に、個別化医療やリアルワールドデータ利活用が進展するなど、薬局を取り巻く環境は大きく変化してきている。

特に、少子高齢化による社会構造の変化により、慢性疾患を抱える高齢者

への病院、薬局のシームレスな対応や地域包括ケアシステムへの薬局の参画が求められている。

改正医薬品医療機器等法では、薬剤師による医薬品の服薬期間を通じた継続的な服薬状況の把握による薬学的管理の実施、服用医薬品の情報を他の医療提供施設の医師等に提供する努力義務が定められ、薬剤師の本質的な役割や対人業務のあり方に大きな変革をもたらす改正となった。

2021年度に厚生労働省で「薬剤師の養成及び資質向上に関する検討会」が

開催され、今後の薬局のあるべき姿として、対物中心の業務から、患者・住民との関わり度の高い対人業務にシフトすることにより、薬物療法や健康維持・増進の支援に一層関わり、患者・住民を支えていくことが求められた。さらに「薬局薬剤師の業務及び薬局の機能に関するワーキンググループ」では、対人業務のさらなる充実が重要なキーワードとして検討されると共に、ICT化への対応、地域における役割について検討された。

超高齢社会に伴う人口減少が進み、高齢者を中心とした医療ニーズが極大化することが見込まれる中、薬局間連携等により薬局の質を高め、薬局薬剤

師が地域包括ケアシステムを支える重要な医療職種として活躍することが期待される。

そのような中で、本分科会では、和歌山県立医科大学薬学部教授である赤池昭紀氏に基調講演を頂戴し、厚労省医薬・生活衛生局総務課薬事企画官の太田美紀氏、認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML理事長である山口育子氏、そして、日本薬剤師会副会長の安部好弘氏と、それぞれの立場からの意見や情報をいただき、現場で活躍する薬剤師にとって有益な分科会になればと考えている。

(太田力与子)

## 第56回 日本薬剤師会学術大会

(順不同)

 <b>関西医薬品協会</b> 〒541-0044 大阪府中央区伏見町二丁目四十一番 電話 〇六(六二二二)九一九一	社公 益 <b>九州山口薬剤師会</b> 会長 福岡県 佐賀県 佐賀県 福岡県 福岡県 富永孝治 長崎県 長崎県 長崎県 長崎県 長崎県 代幸 代幸 代幸 代幸 代幸	社公 益 <b>大分県薬剤師会</b> 会長 宮崎県 宮崎県 宮崎県 宮崎県 宮崎県 安東哲也 安東哲也 安東哲也 安東哲也 安東哲也	社公 益 <b>京都府薬剤師会</b> 会長 河上英治 〒605-0863 京都市東山区東大路五条上る梅林町五六三 電話 〇七五(五五一)〇三七六	社公 益 <b>東京都薬剤師会</b> 会長 高橋正夫 〒101-0054 千代田区神田錦町一丁目二番一 電話 〇三(三二二九四)〇二七二	社公 益 <b>大阪府薬剤師会</b> 会長 乾英夫 〒540-0019 大阪府中央区和泉町一丁目三十一番八 電話 〇六(六九四七)五四八一	社公 益 <b>和歌山県薬剤師会</b> 会長 稲葉眞也 〒640-8249 和歌山市雑賀屋町一丁目四九 電話 〇七三(四二二)四七四八
	社公 益 <b>福岡県薬剤師会</b> 会長 福岡県 佐賀県 佐賀県 福岡県 福岡県 富永孝治 長崎県 長崎県 長崎県 長崎県 長崎県 代幸 代幸 代幸 代幸 代幸	社公 益 <b>宮崎県薬剤師会</b> 会長 宮崎県 宮崎県 宮崎県 宮崎県 宮崎県 安東哲也 安東哲也 安東哲也 安東哲也 安東哲也	社公 益 <b>京都府薬剤師会</b> 会長 河上英治 〒605-0863 京都市東山区東大路五条上る梅林町五六三 電話 〇七五(五五一)〇三七六	社公 益 <b>東京都薬剤師会</b> 会長 高橋正夫 〒101-0054 千代田区神田錦町一丁目二番一 電話 〇三(三二二九四)〇二七二	社公 益 <b>大阪府薬剤師会</b> 会長 乾英夫 〒540-0019 大阪府中央区和泉町一丁目三十一番八 電話 〇六(六九四七)五四八一	社公 益 <b>和歌山県薬剤師会</b> 会長 稲葉眞也 〒640-8249 和歌山市雑賀屋町一丁目四九 電話 〇七三(四二二)四七四八



### 薬剤師の資質として求められるもの

#### —改訂モデル・コア・カリキュラムに見る薬学教育への期待

座長  
日本薬剤師会常務理事  
和歌山県薬剤師会常務理事

亀井美和子  
竹谷美賀子

薬学教育モデル・コア・カリキュラム(2022年度改訂版)が今年2月に公表され、薬科大学・薬学部に来年度(24年4月)に入学する6年制課程の学生から適用となる。今般の改訂コアカリは、今後の社会構造の変化を踏まえて、医療人として安全で質の高い医療を提供し、公衆衛生の向上と増進に寄与できる薬剤師を育成するための内容となっている。

改訂コアカリでは、現行コアカリの「卒業時に必要とされる薬剤師として求められる基本的な資質」が改められ、「生涯にわたって目標とする薬剤師として求められる基本的な資質・能力」が掲げられた。また、GIO・SBOsが廃止されて概念化された「学修目標」が提示されるなど、学修成果基盤型教育の新展開が行われている。

本分科会では、まず、全般にわたって改訂を主導した文部科学省教育局医学教育課薬学教育専門官の大久保正人氏に登壇いただき、基調講演として「薬学教育モデル・コア・カリキュラム改訂の経緯と現状」をお話しいただく。

続くシンポジウムでは、改訂に関わった和歌山県立医科大学薬学部教授の平田収正氏と日本薬剤師会常務理事の長津雅則氏、厚生労働行政推進調査事業で卒後研修カリキュラムに関する調査研究に取り組んでおられる名古屋大学医学部附属病院教授・薬剤部長の山田清文氏に登壇いただく。

薬学教育は全ての薬剤師の関心事であるが、特に、来年度に入学する薬学生を実務実習生として薬局・病院で受け入れて指導に関わる立場、卒後の研修生を受け入れて指導に関わる立場の方々においては十分な理解が必要である。本分科会への参加を通じて、薬学教育の今後の方向性、大学の内部質保証や卒後研修について、理解を一層深める機会としていただきたい。

(亀井美和子)

### 小児の在宅医療における薬剤師の役割

座長  
日本薬剤師会理事  
和歌山県薬剤師会常務理事

川名三知代  
金子雅好

小児の在宅医療で出会う疾患は重症かつ稀少性が高く、薬学的ケアに関する情報を共有できる場もほとんどない。それでも、この領域に一步踏み込めば「何かできることはないか」と問い続け、薬剤師としての責任感と使命感に駆られるから不思議である。

近年の小児医療の進歩により、重症の難治性疾患の小児も病院での急性期治療を終えて、人工呼吸管理や栄養管理等の医療的ケアを継続しながら在宅生活へ移行する機会が増加し、医療的ケアを継続しながら成長する小児(医療的ケア児)の在宅医療のニーズが高まっている。2016年5月に障害者総合支援法が改正され、医療的ケア児や家族への制度的な支援が始まり、21年6月の医療的ケア児支援法の成立により支援の動きは加速されつつある。22年の調剤報酬改定では医療的ケア児に対する薬学的管理が評価され、小児特定加算も新設された。

医療的ケア児の原疾患は様々だが、日常的に医療機器を必要とするため通院が困難であり、自宅での継続的な医療的ケアを支える家族への支援が喫緊の課題となっている。21年に日本薬剤師会が実施した医療的ケア児に対する薬学的ケアの実態調査からは、全国各地で医療的ケア児に対する院外処方箋が発行され、保険薬局では幅広い年齢層の医療的ケア児に対応していることが分かった。

その薬学的ケアは薬剤師の訪問と直結するものではないが、重症度が高い場合に在宅患者訪問薬剤管理指導のニーズが高いことも示された。また、適切な剤型の医薬品が供給されない小児領域において薬剤師は、曝露対策の設備も整わない中で、薬理活性の高い医薬品の加工や散剤調剤に取り組み、患者安全や家族のQOL改善および維持に直結する薬学的ケアを行っていた。

本分科会では、医療的ケア児を含めた小児に対する在宅医療における薬剤師の関わりについて、社会的状況を理解し、先駆者たちの経験を共有する。そしてこれから何をすべきか一緒に考える機会としたい。

(川名三知代)

### コロナ禍で芽生えた 新たな薬剤師業務を考える

座長  
日本薬剤師会理事  
和歌山県薬剤師会常務理事

村杉紀明  
江口暢洋

2020年の1月から始まったわが国での「新型コロナウイルスパンデミック」において、全国の薬剤師は患者の自宅や宿泊療養施設等で様々な医薬品等の供給を担ったほか、ワクチン接種支援、抗原検査キット販売、ワクチン・検査

パッケージ対応など、自治体や医療機関等との連携のもと長期間にわたる地域住民支援を実践してきた。このことは、第8次医療計画の新興感染症対応等に数多く薬剤師や薬局の役割が明記されるようになったことや、改正感染症法に基づく各地域での感染症医療および通常医療の提供体制構築に向けた協議へとつながった。

社会における薬剤師・薬局の責任や役割に期待が膨らむ中、本分科会ではまず、基調講演で中井清人厚生労働省

医薬・生活衛生局医薬品審査管理課長に、新たな薬事承認のあり方や医薬品の価値を高めるために求められる薬剤師の役割などを講演いただく。続いて、永田泰造東京都薬剤師会顧問からは、知られざるダイヤモンドプリンセス号における医薬品の供給体制や薬剤師班支援活動の実態を、泉憲政兵庫県薬剤師会理事には自宅や宿泊療養施設の患者対応調査の結果を報告いただく。

続いて、松浦正佳大阪府薬剤師会常務理事にはワクチン接種の担い手について予防接種研修プログラムに基づいた研修会を開催した立場で講演いただき、井端浩之和歌山県薬剤師会理事には薬剤師が行ったコロナウイルスの検

査事業に携わった経験や必要な対応などを講演いただく。

薬剤師が持っている知識や経験を発揮するために必要なことは何か、今まで販売したくてもできなかった感染症検査キットの販売を医療機関等と連携して対応することやワクチン接種の担い手になった先には何が見えるのか、困難な状況であっても時代の要請に応え続けると薬剤師を取り巻く環境にどのような変化が生じるのかなど、本分科会ではコロナ禍での対応を題材としているが、国民のために薬剤師サービスを発揮する未来全体について参加者と共に考える分科会にしたい。

(村杉紀明)

## 第56回 日本薬剤師会学術大会

(順不同)

**CRECON**  
RESEARCH & CONSULTING

クレコンリサーチ&コンサルティング株式会社

代表取締役社長 木村 仁

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷二丁目一階五番

電話 〇三(三四〇七)二〇一四番

社団法人 日本薬局協励会

会長 佐野 智

〒151-0053 渋谷区代々木三丁目四六一番一

電話 〇三(三三七〇)七一七一

JACDS

社団法人 日本チェーンドラッグストア協会

会長 池野 隆光

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台二丁目九番

FAX 電話 〇三(六二七三)七三三五番

JPEC

公益社団法人 日本薬剤師研修センター

理事長 矢守 隆夫

〒105-0003 東京都港区西新橋二丁目三番一

電話 〇三(六四七五)九〇四一番

GPC Japan

公益社団法人 薬剤師認定制度認証機構

代表理事 安原 真人

〒105-0003 東京都港区西新橋一丁目九番二

電話 〇三(三三五一)九八三番

JAPIC

一般財団法人 日本医薬情報センター

会長 村上 貴久

〒150-0002 渋谷区渋谷二丁目一五(長井記念館)

電話 〇三(五四六六)一八一一番

URL: <https://www.japic.or.jp>

PMRJ

Pharmaceutical and Medical Device Regulatory Science Society of Japan

社団法人 医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団

会長 奥田 晴宏

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷二丁目一五(長井記念館)

FAX 電話 〇三(三四〇〇)五三三八番

JSHP

一般社団法人 日本病院薬剤師会

会長 武田 泰生

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷二丁目一五(長井記念館)

FAX 電話 〇三(三四〇六)五三〇三番



# 女性のライフサイクルと 特有の疾患について

## —薬剤師にできること

座長  
日本薬剤師会理事  
和歌山県薬剤師会副会長

小林百代  
鋤柄宣子

現在の日本では総人口の約51.4%を女性が占め、その数は6398万人である。生物学的に見た女性は、女性ホルモンの変動により体や心に影響を受けている。女性ホルモンの変動というのは、思春期・成熟期・更年期・老年期といったライフステージによって大きく変わるだけでなく、思春期から更年期には月経→排卵→月経と月内変動を繰り返す。

現代の日本女性は初経の低年齢化と出産回数の減少により、一生のうちに約400～500回の月経を繰り返す。戦前の日本女性の月経回数が約50回だったことと比較すると、たった80年の間に10倍近くに増えたことになる。この排卵や月経回数の多さは、月経前症候群(PMS)や月経困難症を引き起こす回数を増やすばかりか、子宮内膜症、子宮筋腫、卵巣癌、乳癌など女性特有の病気の発症リスクになっているとも

考えられている。一方で、PMSをはじめとする月経に関連した症状や更年期障害の当事者たちの多くは、「当たり前のことだ」「仕方がない」「病院へ行くほどではない」「我慢するしかない」などと思っており、症状があるにも関わらず医療機関を受診したことのある人の割合は全体の約3分の1しかなく、症状が重度であっても約半数は受診したことがないという現状にある。

この分科会は、毎月繰り返す症状に悩まされている女性や独りで抱えて相談できずにいる女性たちに寄り添い、薬剤師としてできることについて考えることを目的として、まずは女性のライフサイクルおよび女性特有の疾患について理解し、さらには乳癌の術後ケアについても知識を深める機会とした。女性特有の疾患を持つ患者の大多数が、男性にももっと理解してほしいと思っているとの調査データもある。

どう接したら良いのか分からない、もっと知りたいと思っている薬剤師なら男女を問わず大歓迎。この分科会をかかりつけ薬剤師機能を広げる好機と捉え、オール薬剤師で共に学びたいと考えている。(小林百代)

# スポーツファーマシストによる アスリートサポート

座長  
日本薬剤師会常務理事  
和歌山県薬剤師会常務理事

亀井美和子  
山下真経

アスリートにとって体調管理は重要であるが、近年はドーピング基準の厳しさに比例して、アンチ・ドーピングの側面からも、さらにその重要性が増している。そのような中、スポーツファーマシストがアスリートをサポートする際の知識や連携にも変化が求められている。本分科会では、アスリートをサポートするための知見を深め、スポーツファーマシストとして、また薬剤師として、アスリートをサポートする上で何が大切なのかを考える機会とした。

基調講演は、日本体育大学児童スポーツ教育学部教授であり日本オリンピック委員会強化スタッフでもある須永美歌子氏に登壇いただき、「スポーツ科学の知見に基づくアスリートサポート—性差を考慮したアプローチ」

と題し、男性と女性の形態的・生理的な違いを踏まえて、主に女性アスリートのサポートに焦点を当てて、性差を考慮したアプローチの重要性についてご講演いただく。その後、岩手医科大学薬学部講師の杉山育美氏からは「食の知識とアンチ・ドーピング活動—アスリートにもっと寄り添うために」、アスレチックトレーナーの服部祐介氏からは「アスレチックトレーナーと薬剤師の連携」、オリンピック出場経験者でもある黒田薬局の松島美菜氏からは「海外遠征で感じた薬剤師の必要性」と題して、ご講演いただく。

JADAが認定する公認スポーツファーマシストは現在1万2000人となり、多くの薬剤師がアンチ・ドーピングの知識を既に有している。その知識をベースとして、アスリートの体調管理を身体面・心理面からも支えることで、信頼関係が一層深まることになる。ぜひ本分科会に参加いただき、ご自身の活動に役立てていただきたい。

(亀井美和子)

# 新型コロナウイルス感染症の 類型変更以降の学校薬剤師への期待

## —子供たちの未来のために何ができるか

座長  
日本薬剤師会常務理事  
和歌山県薬剤師会学校薬剤師部会副部長

富永孝治  
抜井久司

3年半以上に及ぶ新型コロナウイルス感染症の拡大により、多くの学校では教育活動が従来通り実施できないという状況が続いた。私たち学校薬剤師

は学校関係者と協力し様々な感染防止対策を行い、教育の機会の確保と質の担保を図ってきた。

5月8日から新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが2類相当から5類に変更され、学校でもマスクをしない児童生徒らの笑顔が溢れている。しかし、コロナ感染者数は相変わらず増減しており、収束の気配はない。感染者が確認された場合にどう対応するかなど、コロナ類型変更後の学

校の対応マニュアルを見直し、学校薬剤師として求められていることは何か改めて見直すべき時が来ている。

本分科会はコロナ類型変更後の学校薬剤師の活動について、まず文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課の鈴木貴晃氏に、類型変更に伴う「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」の改訂など、国が求めるあり方を制度面から解説していただく。続いて横浜薬科大学の田口真穂氏に、学校における感染症対策の重要性について換気を中心にお話しいただく。そして日本薬剤師会学校薬剤師部会の豊見雅文氏に、手指消毒や換気などの健康習慣の維持や学校環境衛生検査の完全実施に向け

た取り組みについて講演いただく予定である。

新型コロナウイルス感染防止対策の中で培った手指消毒や換気などの健康習慣や効率的な環境衛生活動、ICTを活用した多様な教育活動など、いわば“良い習慣”はぜひ継続してほしいと考える。一方で、若年者の大麻・一般用医薬品の乱用の増加など長期にわたるコロナ禍で生じた指摘される健康課題も多数存在する。本分科会では、学校薬剤師が担うこれからの感染防止対策とコロナ禍での健康教育支援を探る協議を行い、児童生徒等の現在と将来を守るための学校校薬剤師活動の再認識を図りたい。

(富永孝治)

# 第56回 日本薬剤師会学術大会

(順不同)

 <p><b>明治薬科大学</b></p> <p>〒204-8588 東京都清瀬市野塩二丁目五番二番(代)</p>	 <p><b>武蔵野大学薬学部</b></p> <p>〒202-8585 東京都西東京市新町一丁目二番</p>	 <p><b>東京薬科大学薬学部</b></p> <p>〒192-0392 東京都八王子市堀之内一丁目四番二番(代)</p>	 <p><b>東京理科大学薬学部</b></p> <p>〒278-8510 野田市山崎二丁目四番一</p>	 <p><b>日本薬科大学</b></p> <p>〒362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室一〇二八番</p>	 <p><b>城西大学薬学部</b></p> <p>〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台一丁目</p>	 <p><b>奥羽大学薬学部</b></p> <p>〒963-8611 郡山市富田町三角堂三丁目一</p>	 <p><b>東北医科薬科大学</b></p> <p>〒981-8558 仙台市青葉区小松島四丁目一</p>
--	--	---	--	---	--	--	---



# All-in-oneで強力サポート

## ウィーメックス

今年1月スタートの電子処方箋、4月からのオンライン資格確認導入の原則義務化により、データヘルス集中改革による医療DXがさらに加速している。PHCホールディングス傘下のウィーメックスが提供する「オンライン資格確認」と連携する保険医療機関・薬局向けレセコン用ソフトウェアの導入支援数は、6月に累計で3万5000件を突破した。

同社は販売パートナー各社と共に全国にサポート体制を展開し、「オンライン資格確認」の導入を支援してきた。5月にはパナソニックコネクスト製・顔認証付きカードリーダーの販売を開始し、同社から購入できるようになった。導入の初動から円滑な運用開始まで一貫通貫の支援で保険医療機関・薬局における導入負担軽減を実現している。

オンライン資格確認の運用開始により、その場で保険資格を確認し、薬剤情報や特定健診情報、診療情報の参照ができる。入力の手間を大幅に削減させ、自局以外の患者情報も含めた一元管理も可能となる。運用をはじめた薬局からは、「新規患者の手入力での登録が不要になったことで、業務スピードが上がった」などと好評だ。

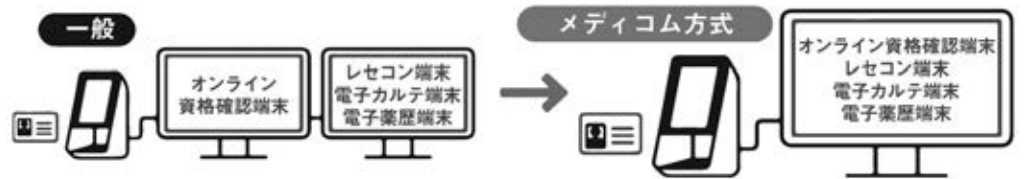
同社では導入にあたり、専用端末を用意する一般的な方式に加え、一つの端末にオンライン資格確認・レセコン・電子カルテ/電子薬歴の機能を付与するAll-in-one方式を提供しており、スペースに限られる診療所や薬局の受付でも無理なく導

入できるのが大きな特徴となっている。また、同社の電子薬歴システム「PharnesV-MX」はレセコンと薬歴をシームレスに一体化し、患者の必要な情報をワイドモニターで『一画面』で閲覧できるなど、現場での『使いやすさ』にこだわった仕様となっている。紙の処方箋に対しても、スキャンと同時に2次元コードデータを取り込んで自動転記する機能などで入力の手間を削減でき、ハイリスク薬画面やシエマ図などできめ細かな指導をサポートしている。また電子薬歴システム「DrugstarPrime」は患者参加型の治

療を実践する「アドヒアランス向上プログラム」を搭載し、薬剤師の専門性を支援。オンライン服薬指導ツールと双方向に連携するWebAPI機能を搭載し、クラウド薬歴DrugstarLeadとの連携によるハイブリッド運用や、LLM(大規模言語モデル)を活用した自然言語による音声操作など、AI連携機能も充実した高機能型の電子薬歴システムとなっている。

ウィーメックスは、医療へのさらなる貢献を見据え、企画・開発から販売まで一貫通貫でのサービス提供を可能とする体制強化を目指していく。

#ウィーメックス独自のAll-in-one方式での「オンライン資格確認」導入



一般的な方式と All-in-one 方式の比較図

# 話題の調剤支援システム

関連記事19~22ページ

## 「薬剤師の声」から圧倒的操作性

### アクシス「メディクス」

アクシスは、国内初(自社調べ)となるクラウド型電子薬歴「メディクス」を提供し、薬局が抱える様々な課題解決をサポートしている。クラウド型電子薬歴であるため、インターネット環境があれば時間や場所を選ばず、薬歴の確認や記載を行うことができ、パソコンだけでなくタブレットPCなど多様な端末で利用が可能。薬局外での訪問調剤、出張先でも使える薬歴システムとなっている。持ち運びができるだけでなく、薬剤師の業務手順や使いやすさを第一に機能を設計しており、薬歴入力時間を大幅に短縮しているのが大きな特徴だ。

患者に指導した内容を確実に記録することができるため、整合性のとれた適切な薬歴作成が可能で、定期的な機能アップデートも実施している。さら

に、インターネットを通じて全て自動でアップデートされるため、更新作業や更新費用などは一切かからない。地域密着の薬局や在宅専門の薬局など、様々な薬局に好評でサービス提供開始から契約継続率99%となっている。

服薬指導・薬歴作成に必要な頭書きや処方箋の比較、過去の指導内容が一つの画面で確認できると共に、服薬指導から薬歴作成を迅速に行うために入力サポート機能を搭載している。患者の生活習慣や嗜好(頭書き)、処方された薬をもとに、患者の症状に応じた指導例文が2万点用意されているほか、よく使う言葉や文章は薬局オリジナルの指導文として簡単に登録できるため、例文をクリックするだけで入力が可能となる。

前回と今回処方の差分についても、

1クリックで薬歴に自動入力でき、患者の前回来局時の服薬指導内容から今回の服薬指導で必要な確認事項を忘れないようシステムが注意喚起して、継続的な服薬指導をアシストしている。

従来のオンプレミス型の電子薬歴は薬歴のデータが蓄積されると動作スピードが遅くなり、検索に時間がかかることが指摘されていたが、メディクスは最先端の高速化技術を取り入れているため、10年以上の薬歴データを蓄積しても操作レスポンスの低下がないのも最大のメリットといえる。

複数店舗の薬歴を管理できる機能も搭載しており、特に店舗数が多いチェーン薬局には好評だ。店舗ごとの来局ピーク時間や地域別データなども集計できるほか、グループ店舗で「未入力」や「保留」になっている薬歴の数を集計し、見える化することで薬歴未記載を未然に防ぎ、監査や指導にも役立てる。



そのほか、訪問調剤や24時間対応、処方チェック、疑義照会にも対応。オプション機能には、病名登録、処方からの逆引きによる「疾病監査機能」で処方をチェックする機能や、OTC医薬品と処方薬の併用薬監査機能、DSU情報が発出された医薬品をチェックする機能、服薬中のフォローアップ機能、オンライン服薬指導などを有し、幅広く薬局のニーズに対応している。

# 第56回 日本薬剤師会学術大会

(順不同)



株式会社 常磐植物化学研究所

本社 東京都中央区日本橋本町四丁目一五  
電話 03-3520-1151  
東京支社 千葉県佐倉市木野子一五  
電話 043-498-0007  
中央支社 千葉県本町四丁目一五  
電話 03-3520-1151

代表取締役 小林 宏輔  
〒541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町一丁目一八  
電話 06-6227-1630

小松屋株式会社

〒650-8530 神戸市中央区港島一丁目三  
電話 078-304-3000

兵庫医科大学薬学部

〒658-8558 神戸市東灘区本山北町四丁目一  
電話 078-453-0031

神戸薬科大学

〒525-8577 滋賀県草津市野路東一丁目一  
電話 077-561-2563

立命館大学薬学部

〒607-8414 京都市山科区御陵中内町五  
電話 075-595-4605

京都薬科大学

〒956-8603 新潟市秋葉区東島二六五  
電話 025-250-2500

新潟薬科大学

〒245-0066 神奈川県横浜市戸塚区俣野町六  
電話 045-859-1300

横浜薬科大学



# 薬局・薬剤師のDX推進を支援

## EMシステムズ「MAPs for PHARMACY DX」

EMシステムズは、2019年にリリースした「MAPs for PHARMACY」の製品コンセプトをリニューアルし、22年12月から「MAPs for PHARMACY DX」をリリースした。これにより薬局・薬剤師業務のデジタルトランスフォーメーション(DX)推進を支援する

薬局業界では、対物業務から対人業務への対応やコロナ禍の影響による薬局業務形態の進化、診療報酬改定への対応など大きな環境変化があり、その対応に迫られている。

「MAPs for PHARMACY DX」は、レセコンや電子薬歴の枠を超え薬局DXを通じて、「モノから人へ」に対応した薬局をサポートし、薬剤師や患者の顧客体験であるユーザーエクスペリエンス(UX)を高め、#TX(Thanks Transformation)を実現する「オールインワン・ファーマシープラットフォーム」

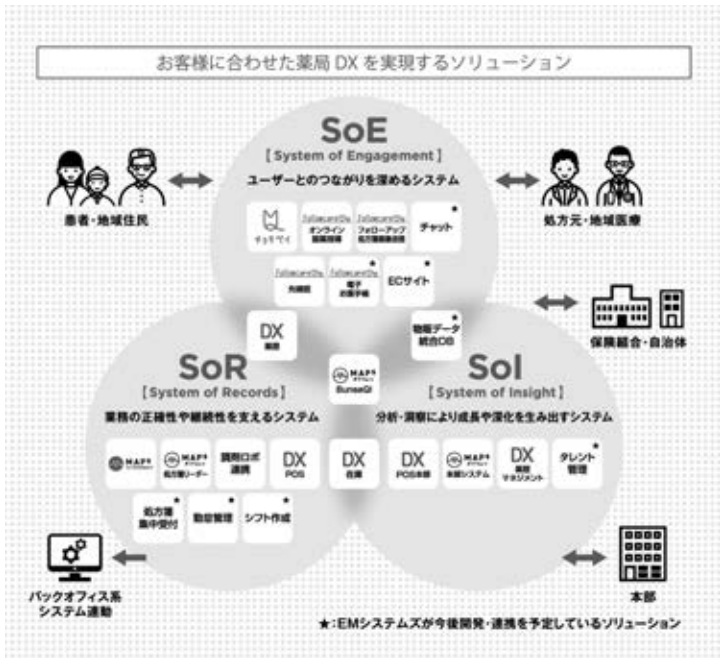
フォーム」DX推進に役立つシステムとして、大きく三つの方向性を意識している。各種機能を、▽ユーザーとのつながりを深める「SoE」▽業務の正確性や継続性を支える「SoR」▽分析や洞察により成長や進化を生み出す「SoI」の三つに分け、各領域での機能拡充を目指している。

新たな機能の一つが働き方改革を支援する「処方箋シェアリング」。クラウド型レセコンの利点を生かし処方箋入力作業がどこでも行える。電子処方箋やオンライン服薬指導等への対応など複雑化する薬局業務もワンコントロールでシンプルに管理が可能。また、医薬品発注業務も薬歴情報と人工知能(AI)の活用により業務を大幅軽減し、本部主導の在庫管理を実現する。

さらに、電子薬歴と患者のスマートフォンを連携することで、先確認から

フォローアップまで対応。服薬指導やフォローアップでは処方内容に応じたサジェスト機能があり、薬剤師のキャリアに依存しない質の担保と業務効率化につながる。

検査値をもとに最適な投与量や禁忌などを自動的にチェックする機能もあり、リフィル処方箋への対応を後押しする。ほかにも、医師への報告をサポートするAI報告文書作成(オプション)や企業や店舗内、地域



連携、医師等とのコラボレーションに活用できるチャットアプリ、薬局経営と薬剤師評価を支援するデータ分析ツールの拡充を予定している。

# 薬局DX化の未来をつなぐ

## ネグジット総研「調剤くんV8」

ネグジット総研は今春、30年以上の経験と実績を誇るレセコンメーカーとしての矜持と技術を注ぎ込んだ新商品「調剤くんV8」をリリースした。

これまでの使いやすさにこだわったコンセプトはそのままに、薬歴・在宅機能部分をクラウド化したハイブリッド形式を採用し、薬局の外に活動の場が広がっている薬剤師業務に即した機能を搭載したシステムに生まれ変わった。

調剤くんブランド第8世代となる「調剤くんV8」のレセコン部分では、これまでのシリーズコンセプトである「マニュアルいらず」をテーマとした見やすい画面構成で、誰もが直感的で容易な操作を実現。ボタンの配置や大きさ、入力者ごとに選べる文字サイズ、ファンクションキー対応操作画面など多様なニーズに対応。圧倒的な使いやすさを追求している。

また、新機能としてスケジュール管

理機能やダッシュボード機能を配置し、当日の入力業務だけでなく、その日以降の予定や状況など業務全体を立体的に把握できるよう進化を果たしている。

窓口業務機能では、本部から遠隔リモートにより入力支援する機能を実装。枚数の関係で入力事務を配置しづらい店舗やスタッフの急な病欠や増患時の応援・入力技術補助など、多岐にわたる用途に対応可能だ。これも長年の経験からユーザーのニーズに応えた機能の一つ。

環境対策にも配慮しており、特にペーパーレス化にはこだわりを持つ。電子薬歴のみならず電子調剤録も搭載している(オプション、ガイドライン準拠)。問診票などの局内保管帳票も合わせてスキャンして画像化し、患者データと一緒に保存しておくことで、紛失などのリスクもなく保管場所の確保



も不要となる。さらに、プリンタのトナー・インク・電気代・本体の摩耗消耗から印刷コストの大幅な削減を実現しており、環境に優しい薬局づくりに貢献できる。

電子薬歴は調剤くんシリーズ初のクラウド化を実現した。薬局内の決まった端末での操作以外にノートパソコンやタブレット(iPad等)での入力操作が可能となった。

通信は安心のセキュリティ対策を施

したVPN通信を採用。生体認証ログインなど複数の安全装置を施すことで個人情報漏洩対策は万全を期している。これにより在宅業務や電話当番時に瞬時に患者情報を確認することができ、薬剤師業務の機動性充実に寄与するシステムとなった。

これまでの利便性はそのままに、新たな機能を持った「調剤くんV8」をぜひ体験してほしい。

# 第56回 日本薬剤師会学術大会

(順不同)

 <p><b>日東メデイック株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 中井龍</p> <p>〒939-2366 富山県富山市八尾町保内一四一</p> <p>電話 〇七六(四五五)三四五一</p>	 <p><b>岩城製薬株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 西村泰輔</p> <p>〒103-8434 中央区日本橋本町四一八一</p> <p>電話 〇三(六六二六)六二五〇</p>	 <p><b>寿製薬株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 富山泰</p> <p>〒389-0697 長野県埴科郡坂城町大字上五明字東川原一九八</p> <p>電話 〇二六八(八二)二二一一</p>	 <p><b>ニプロ株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 佐野嘉彦</p> <p>〒566-8510 大阪府摂津市千里丘新町三番二六号</p>	 <p><b>帝國製薬株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 藤岡実佐子</p> <p>〒769-2695 香川県東かがわ市三本松五六七番地</p> <p>電話 〇八七九(二五)二二二二</p>	 <p><b>久光製薬株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 中富一榮</p> <p>九州本社 〒841-0017 佐賀県鳥栖市田代大官町408番地</p> <p>東京本社 〒100-6330 東京都千代田区丸の内二丁目4番1号</p>	 <p><b>ゼリア新薬工業株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 伊部充弘</p> <p>〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町一〇一</p> <p>電話 〇三(三六六三)二三五(代表)</p>	 <p><b>大塚製薬株式会社</b></p> <p>東京本部</p> <p>〒108-8242 東京都港区港南二一六一四</p> <p>電話 〇三(六七七一)一四〇〇(代表)</p>
---	---	--	--	--	---	--	---



# 薬局大航海時代～未来への羅針盤

## 三菱電機ITソリューションズ「AnyCOMPASS」

地域包括ケアシステムの構築が求められる中、保険薬局は“薬を渡す場所”から“地域における健康管理の中核プラットフォーム”への進化が期待されている。学術大会の展示ブースでは「薬局大航海時代～未来への羅針盤～」をテーマに薬局が地域における健康管理の中核プラットフォームとして、この大航海時代を乗り切るための羅針盤となれるような様々な製品・サービスを紹介する。

これまで同社が提供してきた各製品を一つのクラウドサービスに統合する新ブランド「次世代コミュニケーションサービス AnyCOMPASS」。その第1弾として、6月にサービスを開始したクラウド版電子薬歴は、薬歴システムを単なる薬歴管理だけでなく、“地域医療のコミュニケーションツール”として、保険薬局を支えるべきシステムと考えられており、『しっかり・スピーディー・繋がる』の3点をコンセプトに開発されている。

患者の主訴からプロブレムを確実に把握し、プロブレムの対策状況を見える化することで、患者ごとの服薬指導を『しっかり』とサポート。画面はユニバーサルデザインを採用し、必要情報をシンプルに表示することで、患者情報、処方変化、過去の薬歴などを一目で把握できるようにした。

確認・指導が必要な項目は、赤マークの表示(特許取得済み)で、薬歴記載を『スピーディー』に。また、独自に搭載しているタイムライン機能(特許取得済み)では、患者、医師、薬剤師の『繋がる』コミュニケーションをサポートする。AnyCOMPASSでは、今後在庫管理や経営分析といった本部機能など、薬局薬剤師DXに必要なとなるサービス拡張を予定している。

また、厚生労働省が提唱するデータヘルス改革においては、電子処方箋を軸に各種医療情報をクラウド上で連携・活用して薬局薬剤師DXの実現を目指しており、同社も三菱電機グループの



電子署名技術を活用した電子処方箋向け署名機能をリリース。リモート署名(カードレス署名)にもスピーディーに対応し、今後はマイナンバーカード対応も早期に予定し、薬局の電子処方箋の基盤整備をサポートしている。

同社は、過去35年以上にわたって薬局向けシステムの開発や販売を手がけてきた。保険薬局向けシステム「調剤Melphin / DUO」シリーズは、処方箋受付から服薬指導まで保険薬局の業務を幅広くカバー。セミセルフ型自動釣

銭機とも接続可能な保険薬局に特化したPOSシステムとの連動や、チェーン薬局の管理業務をサポートする在庫管理/経営支援/薬歴共有といったクラウド型本部システム等、多彩な周辺システムをラインアップし、薬局業務をトータルにサポートしている。

薬局・薬剤師への期待の高まりと共に薬局の業務領域は拡大の一途をたどっているが、同社は製品やサービスの提供を通して、薬局の変化をサポートしていく考えだ。

# 「zero for Pharmacy」目指して

## ユヤマ「SR-zero」

薬剤師が対人業務に専念できる新しい調剤業務のスタイル「zero for Pharmacy」。調剤ロボット、機器、システムや電子カルテシステムを販売するユヤマが考える新調剤コンセプトだ。その実現のために、まずは調剤機器「ゼロシリーズ」の普及を目指す。

時代が進むにつれて薬剤師が活躍する場面も広がり、調剤を中心とした「対物業務」から患者を中心とした「対人業務」へとシフトされてきた。しかし、調剤室での調製作業に多くの時間が取られ、薬学的知識に基づいたきめ細やかな服薬指導等、「対人業務」となる患者への対応が難しくなっていることから、薬剤師以外の人に調剤機器の操作を安心して任せられる新しい調剤業務のスタイルを構築する必要がある。

人が操作する以上避けることのでき

ないのがヒューマンエラーの発生と、機器を操作する薬剤師以外の人判断を加えてしまい処方と異なる調剤がされるかもしれない、といった課題がある。

同社では、その対策として調剤機器「ゼロシリーズ」として、水剤分注機「miniAQUA-zero」、鑑査システム一体型自動散薬秤量機「auto onedy-zero」、自動秤量機能付き散薬分包機「SR-zero」の発売を開始。新コンセプト「zero for Pharmacy」実現を目指している。

新コンセプトは、薬剤師が調剤スペースに滞在する時間をゼロにする「ゼロファーマシスト」、ヒューマンエラーによる調剤過誤をゼロにする「ゼロエラー」、全自動での調製作業に関わる時間をゼロにする「ゼロタイ

ム」の三つの「ゼロ」

その中でも「SR-zero」は、専用のカセットから散剤の必要量を秤量しながら自動的に払い出し、配分、分包する。薬品カセットを装着するのは人だが、散薬カセットにはRFIDチップが付いており、処方と異なるカセットがセットされているとエラーでお知らせ、スタートしない仕様になっており、ヒューマンエラーを未然に防止する。また、本体幅76cmのコンパクトサイズながら、散薬カセットを最大で五つまでセットできる点も特徴の一つだ。さらに、量の少ない分包にも対応。1カセット当たり最小0.3gから払い出せる。分包完了後は、散薬の通る経路に重曹を流し込み自動で清掃する等、安全性も高いレベルで実現している。

薬剤師以外の方に操作を安心して任せることで、ますます重要になった薬剤師の対人業務の時間確保のツールと



して期待される。

第56回日本薬剤師会学術大会付設薬科機器展示会(和歌山県民文化会館)では、「SR-zero」をはじめ、タスクシフトにつながる最新の調剤機器を多数展示する予定だ。

# 第56回 日本薬剤師会学術大会

(順不同)

 <p><b>クオールホールディングス株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 <b>中村 敬</b></p> <p>〒105-8452 東京都港区虎ノ門四丁目三十一番一</p> <p>電話 〇三(五五〇五)九〇一一</p>	<p><b>株式会社アインホールディングス</b></p> <p>代表取締役社長 <b>大谷 喜一</b></p> <p>〒003-0005 北海道札幌市白石区東札幌五条二丁目四一三〇</p> <p>電話 〇一一(八一四)一〇〇〇</p>	<p><b>株式会社メディカルシステムネットワーク (なの花薬局)</b></p> <p>代表取締役社長 <b>田尻 稻雄</b></p> <p>〒060-0010 札幌市中央区北一〇条西二丁目三番地</p> <p>電話 〇一一(六一二)一〇六九</p>	 <p><b>中北薬品株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 <b>中北 馨介</b></p> <p>〒460-8515 名古屋市中区丸の内三二五(油伊ビル)</p> <p>電話 〇五二(九九七)三六八</p>	<p><b>株式会社富士薬品</b></p> <p>代表取締役社長 <b>高柳 昌幸</b></p> <p>〒330-9508 さいたま市大宮区桜木町四一三八三</p> <p>電話 〇四八(六四四)三二四〇</p>	 <p><b>白井松新薬株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 <b>安藤 芳彦</b></p> <p>〒528-0052 滋賀県甲賀市水口町宇川三七一一</p> <p>電話 〇七四八(六二)三二五〇</p>	<p>エキパンA製造販売</p> <p><b>タイヘイ薬品株式会社</b></p> <p>代表取締役 <b>森山 正隆</b></p> <p>〒306-0121 茨城県古河市駒込九六九一三</p> <p>本社電話 〇二八〇(七七)三六〇七番(代表)</p>	 <p><b>森下仁丹株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 <b>森下 雄司</b></p> <p>〒540-8566 大阪市中央区玉造一丁目二一四〇</p> <p>電話 〇六(六七六一)一一三一</p>
--	---	---	--	---	---	--	--

当ファイルの著作権は(株)薬事日報社またはコンテンツ提供者に帰属します。当ファイル(印刷物含む)の利用は私的利用の範囲内に限られ、それ以外の無断複製・無断転載・無断引用はご遠慮ください。当ファイル(印刷物含む)を社内資料、営業資料などでご利用される場合はご相談ください。



## スキャナやスマホでレセコン入力

### Neo X「薬師丸賢太」

処方箋の入力作業を支援するソフトウェア「薬師丸賢太」は、業務効率化を実現できる利便性、入力ミスの防止や利用開始時のハードルの低さなどが支持され導入店舗数を伸ばしている。2022年1月の正式リリースから、今年7月には1900店舗で導入された。

Neo X（ネオックス）が展開する薬師丸賢太は文字情報をデジタル化するOCR技術を活用している。スキャナやスマートフォンで読み取った処方箋の画像から、AIが情報をデータ化してレセコンへ連携する。従来はスタッフが手作業で対応していた手間を省略できるようになり、入力ミス軽減や作業の効率化を実現する。

読み取りに用いるスキャナやスマートフォンの機種に指定はないため、店舗にある機材をそのまま利用できる。加えて、レセコンはQRコード対応であればほとんどの機種で利用できるため、レセコンの入れ替えが必要なケー

スはほとんどない。

このように新たな機材を購入せずに利用を開始できる手軽さに加えて、医療機関ごとに異なる処方箋のフォーマット登録が不要な点も現場で好評だ。特殊な様式や手書きの処方箋であっても、スキャンもしくはスマートフォンで撮影した画像からAIが判断して情報を抽出するため、導入直後から高い精度での読み取りが可能だ。処方箋が複数枚つづりの場合でも、複数の患者の処方箋であってもまとめて読み取れる。

こうした機能はスマートフォンがあれば店舗外でも利用できる。店舗環境に応じて使い分けられるよう、薬師丸賢太はWindowsアプリとスマートフォン版のアプリが展開されている。そのため、訪問調剤や施設調剤など店舗外からであっても、スマホアプリ版薬師丸賢太で処方箋を読み取ると、店舗内の端末で内容確認やレセコ



ン入力ができる。スマホアプリとWindowsアプリの併用に追加費用はかからない。

レセコンに入力された情報に間違いがあった場合はそのままレセコン上で修正できる。薬師丸賢太は誤読と修正内容も学習するため、以前は修正が必要だったケースでも短期間で読み取れるように変化する。使い続けることで読み取り精度がさらに高くなっていく

ことも薬師丸賢太の特徴だ。実際に、22年と比較して今年は読み取り精度が60%改善している。

料金は読み取った処方箋枚数に応じて変動するため、薬局の規模に合わせて費用で利用できる。機材の購入や事前設定など初期導入時の負担を抑えながら、調剤の入り口である処方箋入力作業の効率化を果たす。

## 自宅で診察から薬の受取りまで

### 東邦薬品「KAITOS」

東邦薬品が提供しているオンライン診療・服薬指導システム「KAITOS（カイトス）」は、医療機関や薬局、患者をつなげ、自宅にいながらオンラインの診察から服薬指導、薬の受け取りまで行うことができるサービスだ。

オンライン服薬指導をめぐるでは電話を用いた診療/服薬指導の診療報酬上の特例措置（0410対応）が7月末で終了している。「オンラインで診察を受けたため、医薬品配送を宅配にしたい」「病気の子供を連れて薬局に行くのは控えたい」などの患者ニーズの顕在化と合わせて、薬局側も働き方改革の観点から薬剤師が自宅からオンライン服薬指導を行うといったケースも増えていくことが考えられる。

同サービスは月間延べ1000万人以上が訪問し、22万件の医療機関や薬局が掲載された医療機関検索サイト「病院ナビ」と連携しており、医療機関の検索と予約を行うことができる。また、

オンライン診療を予約する際に服薬指導を受けたい薬局も事前に選択することができるため、患者は来局することなくオンラインで診察から服薬指導、薬の受け取りまで完結できる。診察後、処方箋はデータもしくはFAXでクリニックから薬局に送付され（原本は薬局に郵送）、オンライン服薬指導後に医薬品が自宅に配送される仕組みだ。

同サービスはウェブとアプリのどちらにも対応しており、位置情報や都道府県、キーワードなどで薬局を探すことができる。また、服薬指導を行う前に簡単な問診票にアレルギーの有無などの情報を患者に入力してもらうことで、薬局が必要な情報を事前に収集できるようにした。問診票は自由にカスタマイズできオリジナルの問診票も作成可能だ。

また、継続した服薬指導（服薬フォローアップ）にも活用でき、オンラインで患者の服薬状況や体調の変化など

#### 患者画面をアプリ化



#### 薬局検索機能



#### 問診票の入力



を把握することができる。

服薬指導メニューは、服薬指導以外に漢方相談や禁煙相談、育児相談、栄養相談など薬局で取り組んでいる患者支援サービスを服薬指導メニューとして複数作成できる。

さらに、子供や高齢の家族の予約も行える「家族アカウント」の登録もできるように機能の充実を図った。本人

がアカウントを作成しておけば、マイページから簡単に追加でき、最大で10人まで登録が可能だ。

サポート体制も特徴の一つとなっており、患者と薬局の専用コールセンターを用意しているほか、同社の営業（MS）が導入から継続的にサポートし、患者が安心してサービスを受けられるようにしている。

## データ利活用の可能性を拡げる

### ユニケソフトウェアリサーチ「P-CUBE n」

ユニケソフトウェアリサーチ（ユニケ）の電子薬歴一体型システム「P-CUBE n」は、患者の薬物治療や地域住民の健康を支える重要な拠点の薬局向け業務システムとして、DX（Digital Transformation：デジタルトランスフォーメーション）の推進を支援している。オンライン資格確認や電子処方箋の普及による医療情報の活用や、対人業務を目的としたICT化が、立地に勝る薬局の特長化につながると同社は考えている。

ユニケではオンライン資格確認、電子処方箋の対応を通じて、P-CUBE nの特徴である電子薬歴レセコン一体型を生かした業務の提案を行っている。

P-CUBE nでは、レセコン・電子薬歴を分け隔てなく薬剤情報などの取得や重複投与等チェックを行えることから、処方入力や服薬指導時など調剤業

務のどのプロセスでも薬剤情報等を生かした業務を行えることが可能だ。さらに、従来機能との親和性を高め「重複投与等チェックのマトリックス化で直感的な把握」「薬剤情報を電子薬歴へ一括登録」、そして「電子処方箋管理サービスに登録した疑義照会を薬歴への自動反映」などを行うことができるため、業務効率化にも寄与している。

次に、服用期間中の患者フォローアップは、P-CUBE nに標準搭載された服薬フォローアップシステム「フォロナビ」の利用が有効だ。LINEを活用した迅速なメッセージの自動応答システムにより、使い勝手や利用の継続性において評価を得ている。加えて、東京理科大学との共同研究により疾患や薬剤の特性に合わせたきめ細かな指導コンテンツを標準搭載しており、機能とコンテンツを両立させる

ことで、薬局が効率良く服薬フォローアップに取り組むことができる。また、薬剤師のスキルや経験によりバラつきがあるなどの課題がある中、ICTツールを活用することで質の高いフォローアップの「均てん化」につながると見ている。服薬フォローはただICTを活用した患者の服薬フォローアップの実現にとどまらず、かかりつけ薬剤師などの指導加算の算定やトレーシングレポートの実績など、薬剤師業務をさらに高めるための機能強化を続ける予定だ。



医療DXの骨格として示されている「全国医療情報プラットフォーム」が、今までにない情報を活用した薬剤師のあり方が求められる。今後もユニケは薬局におけるデータ利活用の可能性を支援していく構えだ。



研修認定薬剤師の


薬ゼミラーニングトレイン

検索


# 認定取得を丸ごとサポート

薬ゼミラーニングトレインで

## 糧になる学習を効率よく。



認定取得と  
スキルアップを両軸で



受講・単位発行が  
1日で完了

### わかりやすい講義で認定薬剤師の単位を取得！



大腸がんの  
最新情報をアップデート



漢方の  
基礎から  
最新まで  
0<sup>ゼロ</sup>から  
学べる



心疾患を  
時間軸  
で考える



泌尿器疾患  
で着目すべき  
“LUTS”  
とは？



## 薬事日報社は「第56回 日本薬剤師会学術大会」に出展します！

会期:2023年9月17日(日)~18日(月・祝)



薬事日報社公式 LINE の友だち登録で参加できる「抽選会」を実施！オリジナルグッズが当たります！



会場内の書店で薬事日報社書籍をご購入いただいた方に、「選べる」オリジナルグッズをプレゼント！

※書籍に付いている引換券を薬事日報社ブースまでご持参ください。

### 薬事日報社ブースは【和歌山城ホール1階展示室】です！

ぜひお立ち寄りください！





ハイブリッド型レセコン・電子薬歴システム

第56回日本薬剤師会学術大会【和歌山】ブース展示

36年愛されるレセコンブランドの決定版

NEWリリース

# 調剤くんV8



圧倒的ストレスフリー 現場の悩みを一挙解決!



トラブル時でも  
業務を停滞  
させない

ハイブリッド型  
レセコン・電子薬歴

業務効率化を  
強力に推進

算定チェックサポート  
本部入力代行他  
便利な機能

初心者・経験者  
でも  
使いやすい

マニュアル不要  
直感的&  
シンプルな操作性

万が一でも  
安心安全

充実した  
クラウドバックアップ

今なら! 資料請求・デモ申込の方を対象に、  
弊社企画「2024調剤報酬改定連続セミナー」無料招待  
(通常参加価格5万円相当)

詳細は、展示ブースで  
ご案内しています

和歌山城ホール 4階大会議室  
ネグジット総研 展示ブース

NEXTIT  
株式会社ネグジット総研

製品詳細はこちらから



<問い合わせ先>

050-2018-1759 (神戸本社 サポート)



笑って花を咲かせて人生100年時代  
楽しく・おもしろく生きましょう!

しょう  
笑は味にして勝なり 人生100年時代の指南書

NPO法人健康笑い塾®主宰  
著 中井 宏次 (薬家きく臓)  
四六判上製/232頁/定価1,980円  
(本体1,800円+税)

人生計画が何故 重要なのか?

笑いの3大効用 ~健康力、人間関係力、創造力~

笑いの実践 ~顔が笑う、ところが笑う、脳が笑う~

県民公開講座に登壇いたしますので、  
ぜひ楽しくご賞(笑)味ください♪

【健康と笑い ~人生100年時代 楽しく・おもしろく~】

9月18日(月・祝) 14:00~15:30 第3会場 (和歌山城ホール 大ホール)



◇姉妹書も好評発売中

人間学講座 感動と笑い  
~そこまでやるか~

心を動かすキーワードは“そこまでやるか”

これからの時代に必要な“人間力”とは

伝えるではなく“伝わる”コミュニケーションとは

四六判/145頁/1,540円(本体1,400円+税)

薬事日報社 日薬大会会場内(和歌山県民文化会館/和歌山城ホール)の神陵文庫にて販売します。

当ファイルの著作権は株式会社薬事日報社またはコンテンツ提供者に帰属します。当ファイル(印刷物含む)の利用は私的利用の範囲内に限られ、それ以外の無断複製・無断転載・無断引用はご遠慮ください。当ファイル(印刷物含む)を社内資料、営業資料などでご利用される場合はご相談ください。

株式会社薬事日報社 TEL:03-3862-2141 shinbun@yakuji.co.jp http://www.yakuji.co.jp/